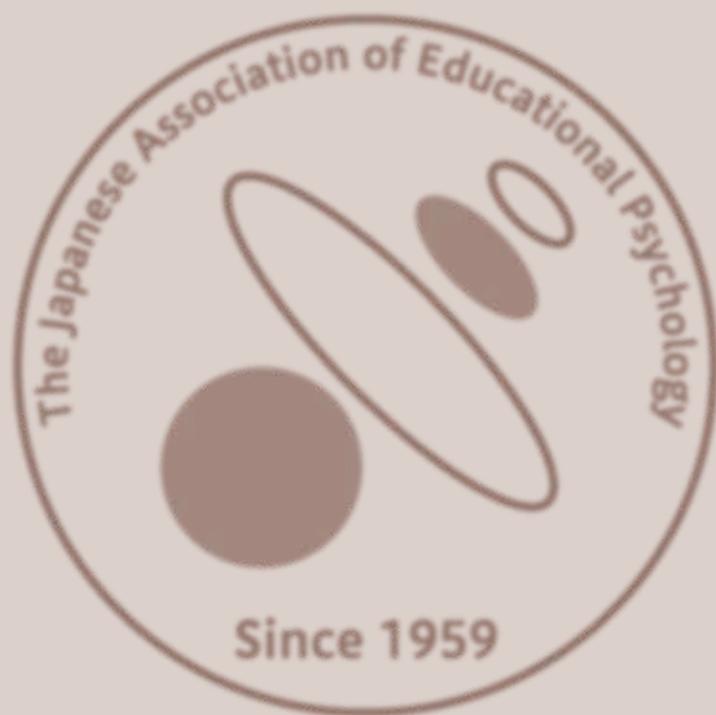


日本教育心理学会 第66回総会プログラム

Program of the 66th Annual Meeting of
the Japanese Association of Educational Psychology



2024年9月14日(土)～9月16日(月・祝)

第20回(2025年度)

児童教育実践 についての 研究助成

ことば、まなび、おうえん

教育実践に携わる現場の先生方からのご応募も引き続きお待ちしております。

Web応募受付中

2024.7.1 月 ▶ 10.28 月

助成期間

2025年4月1日から1年間または2年間

※2ヵ年助成の場合は1年経過時に中間報告の必要があります。

助成金額

1ヵ年助成:1件につき200万円を限度に助成します

2ヵ年助成:1件につき300万円を限度に助成します

対象となる研究

- 「ことばの力」を育む研究
- 児童教育実践の質を向上させる研究

※対象は小・中学生となります。ただし、児童教育への反映が明確な場合に限り、幼児教育、高校生に関する研究も可とします。

審査委員

米田 英嗣	青山学院大学	教授
針生 悦子	東京大学大学院	教授
藤野 博	東京学芸大学大学院	教授
藤森 裕治	文教大学	教授(審査委員長)
横山 詔一	国立国語研究所	名誉教授(五十音順)

応募資格

- 日本の学校・教育委員会に所属する教育実践に携わる方
 - 日本の大学・公的研究機関に所属する研究者
- * 准教授、講師、助教、博士課程の院生など若手支援のため、教授やそれに相当する職は除く

※所属機関の所在地は、日本国内に限り、日本在住者のみ対象とする。※有給・無給、常勤・非常勤、年齢、国籍、学位は不問(ただし、学生の場合は修士号取得以上とする)。

※個人研究、グループ研究ともに可。グループ研究の場合は、応募時点で全員が応募資格に適合すること。※応募に際しては、所属長あるいは指導教官からの推薦が必要です。



Webにて応募受付、
詳しくは博報堂教育財団
ホームページをご覧ください

<https://www.hakuhodofoundation.or.jp/>

博報堂教育財団

Hakuhodo Foundation

〒100-0011 東京都千代田区内幸町2-2-3 日比谷国際ビル14階
TEL:03-6206-6266 FAX:03-6206-6582



日本教育心理学会 第66回総会プログラム

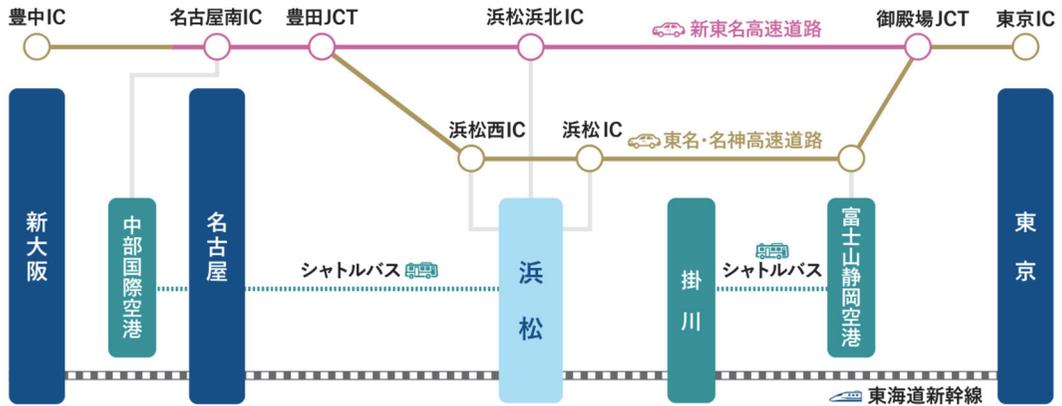
Program of the 66th Annual Meeting of
the Japanese Association of Educational Psychology

2024年9月14日(土)～16日(月・祝)
アクトシティ浜松 コンgressセンター

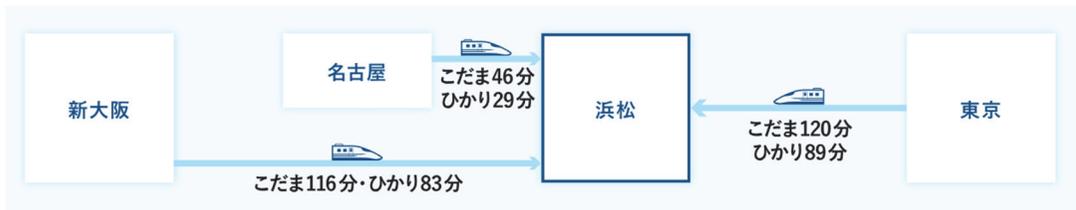
目 次

交通アクセス	(1)
会場へのアクセス	(2)
会場フロア案内	(4)
会場フロアマップ	(5)
参加者へのご案内	(10)
研究発表のご案内	(12)
総会日程	(14)
学会企画シンポジウム	(17)
会員企画シンポジウム	(25)
ポスター発表	(39)

交通アクセス



■ 新幹線・在来線をご利用の場合



新幹線・在来線ともに JR 浜松駅をご利用ください。JR 浜松駅から徒歩 5～6 分程度です。

■ 飛行機をご利用の場合



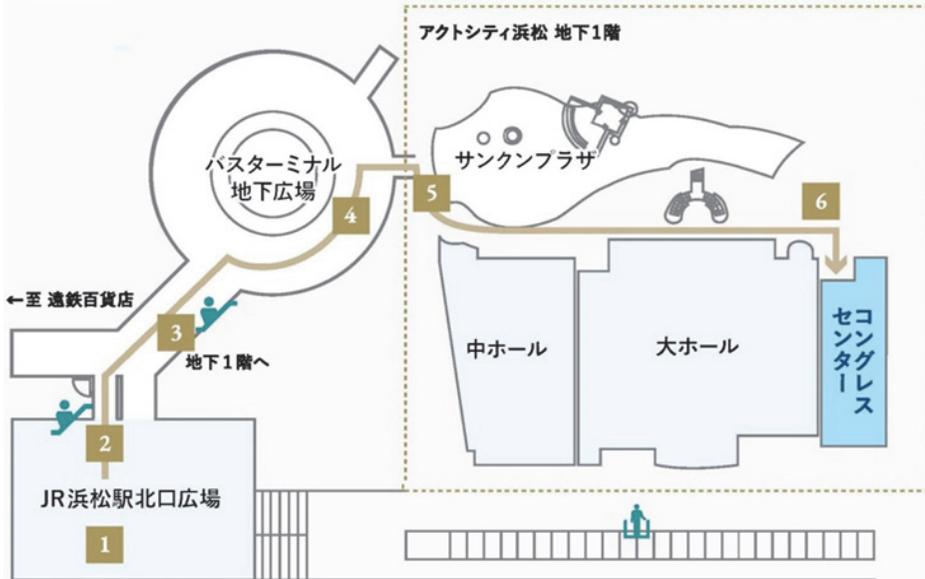
掛川⇨富士山静岡空港のシャトルバスは FDA 搭乗の方のみ利用可能な無料アクセスバスです。

■ 車をご利用の場合

名古屋方面から・・・東名高速浜松西 I.C. より車で 30～40 分
 東京方面から・・・東名高速浜松 I.C. より車で 30～40 分

会場へのアクセス

【会場】アクトシティ浜松 コンgressセンター
〒430-7790 静岡県浜松市中区板屋町 111-1



1 JR浜松駅

東海道線改札または東海道新幹線改札を出て右手、北口へ。



2 JR浜松駅北口広場

北口を出た後、正面に地下へ下りるエスカレーター・階段があるので地下1階へ降りる。

(エレベーターも階段の横奥にあります。お体の不自由な方はエレベーターをご利用下さい。駅構内には右と矢印がでているが、雨が降っていると傘が必要になってしまいます)



3 バスターミナル エスカレーター前

地下へ下り直進するとバスターミナルへ行くエスカレーターがあり、その横を通過すると吹き抜けがある広場へ出る。



4 バスターミナル地下広場

右壁沿いに進むと青色の看板「B アクトシティ連絡地下道」があり通路を直進。



5 アクトシティ浜松入口

通路を抜けると右手に自動扉があり、入る。すぐ右手に中ホール入口がある。



6 財団事務室前

館内を進むと、インフォメーションが左手に見え、右手に財団事務室がある。財団事務室手前のエスカレーターまたはエレベーターでコンgresセンターへ。(そのまま直進すると飲食店街に入ります)

会場フロア案内

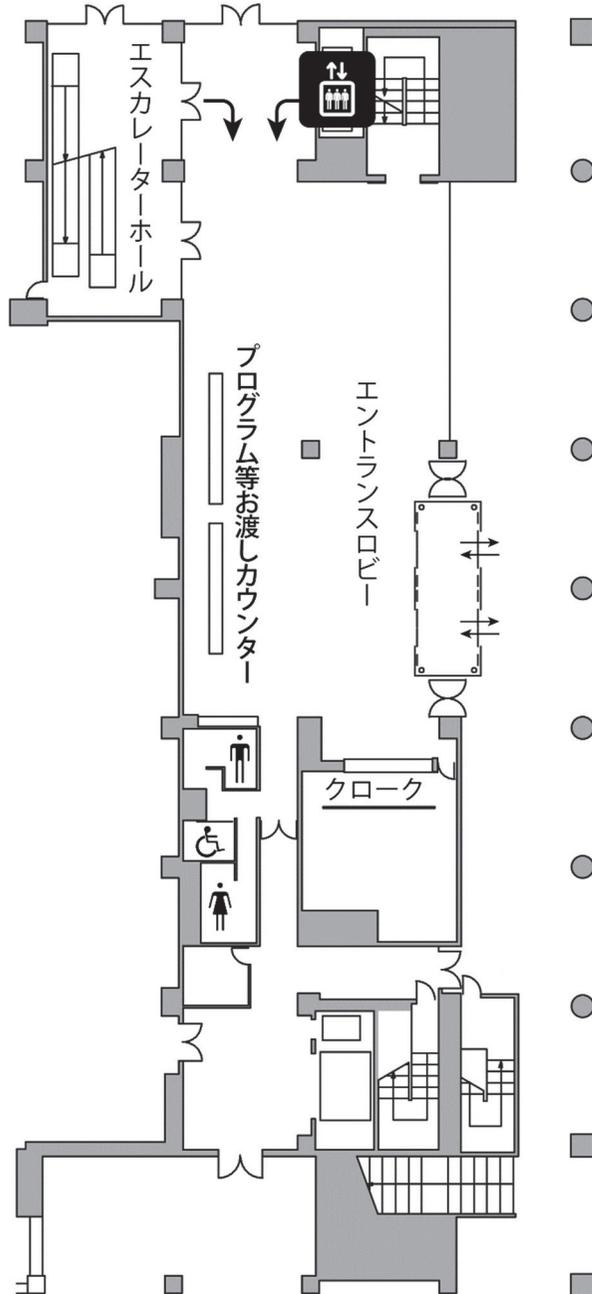
アクトシティ浜松 コンgresセンター

1階	エントランスロビー	プログラム・参加章ホルダー等お渡し クローク
2階	21 会議室 22 会議室	会員企画シンポジウム JA01～JH01 会員企画シンポジウム JA02～JH02
3階	ロビー 31 会議室	総合受付 発表変更受付 各種問合せ 非会員シンポジスト受付 名誉会員・終身会員受付 ポスター発表受付 ポスター発表 書籍等展示
4階	41 会議室 43 会議室 44 会議室	学会企画シンポジウム 1～7 学会企画チュートリアル・セミナー 会員企画シンポジウム JA03～JH03 会員企画シンポジウム JA04～JH04
5階	52 会議室 54 会議室 53 会議室	会員企画シンポジウム JA05～JH05 会員企画シンポジウム JB06, JE06 打合せ室（第1日～第3日11時）

1F

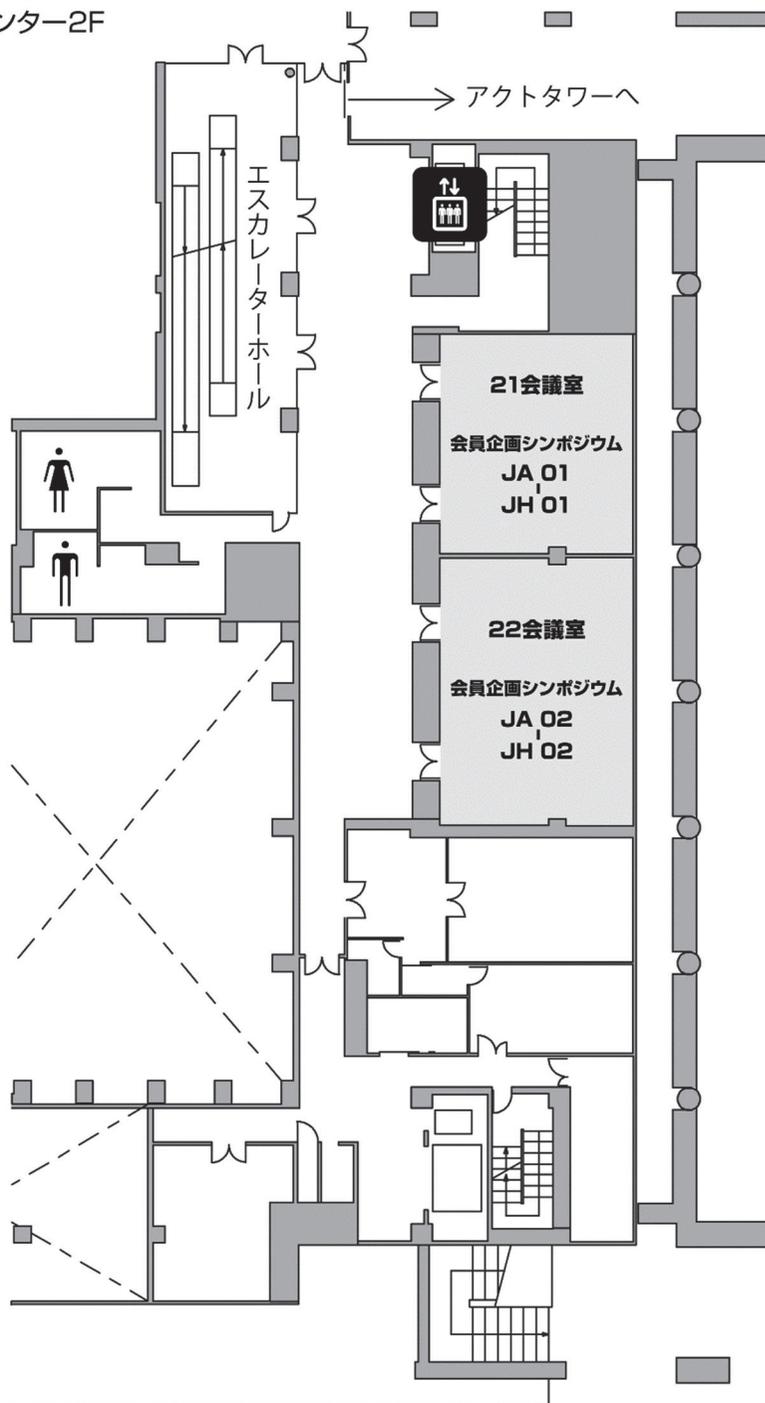
アクトシティ浜松
コンgressセンターエントランスロビー

地下1階
財団事務室前
から上がる
(会場へのアクセス
のページ参照)



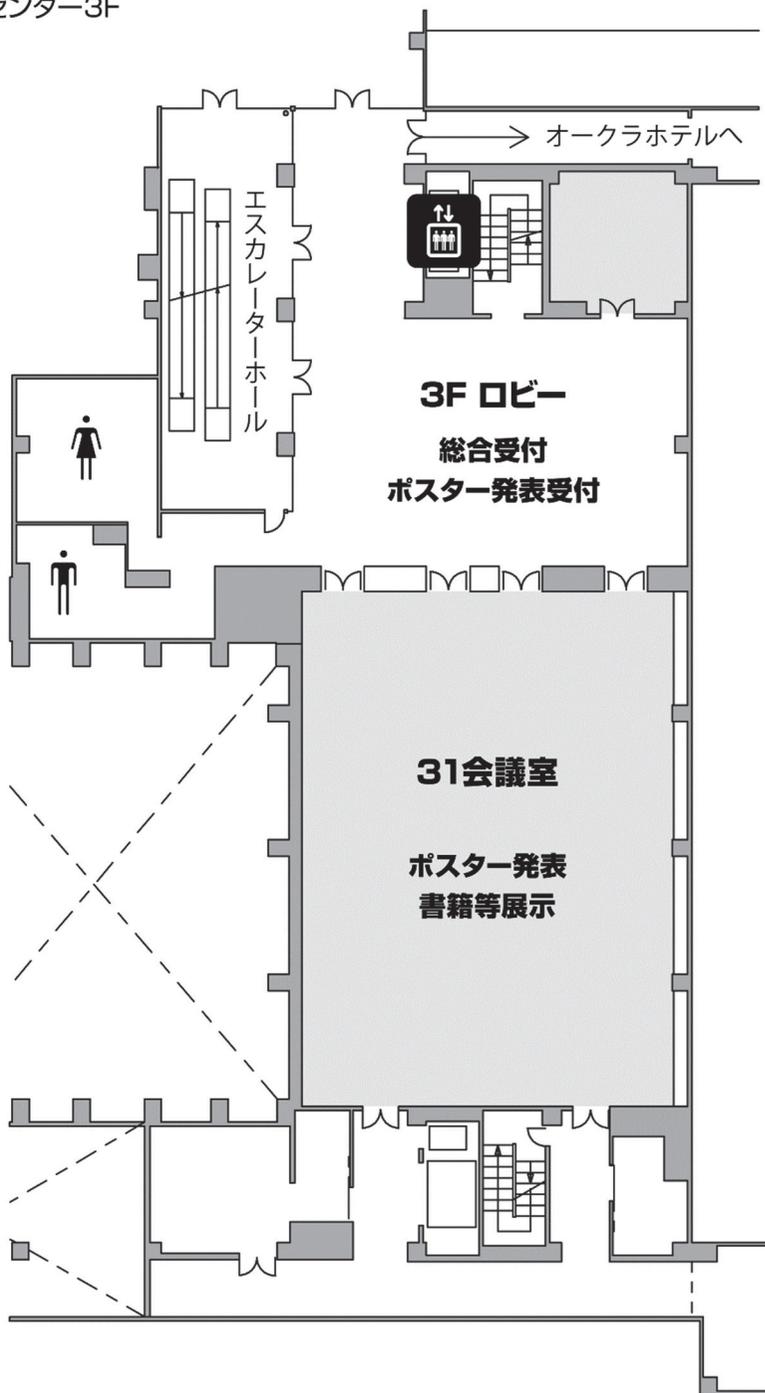
2F

アクトシティ浜松
コンgresセンター2F



3F

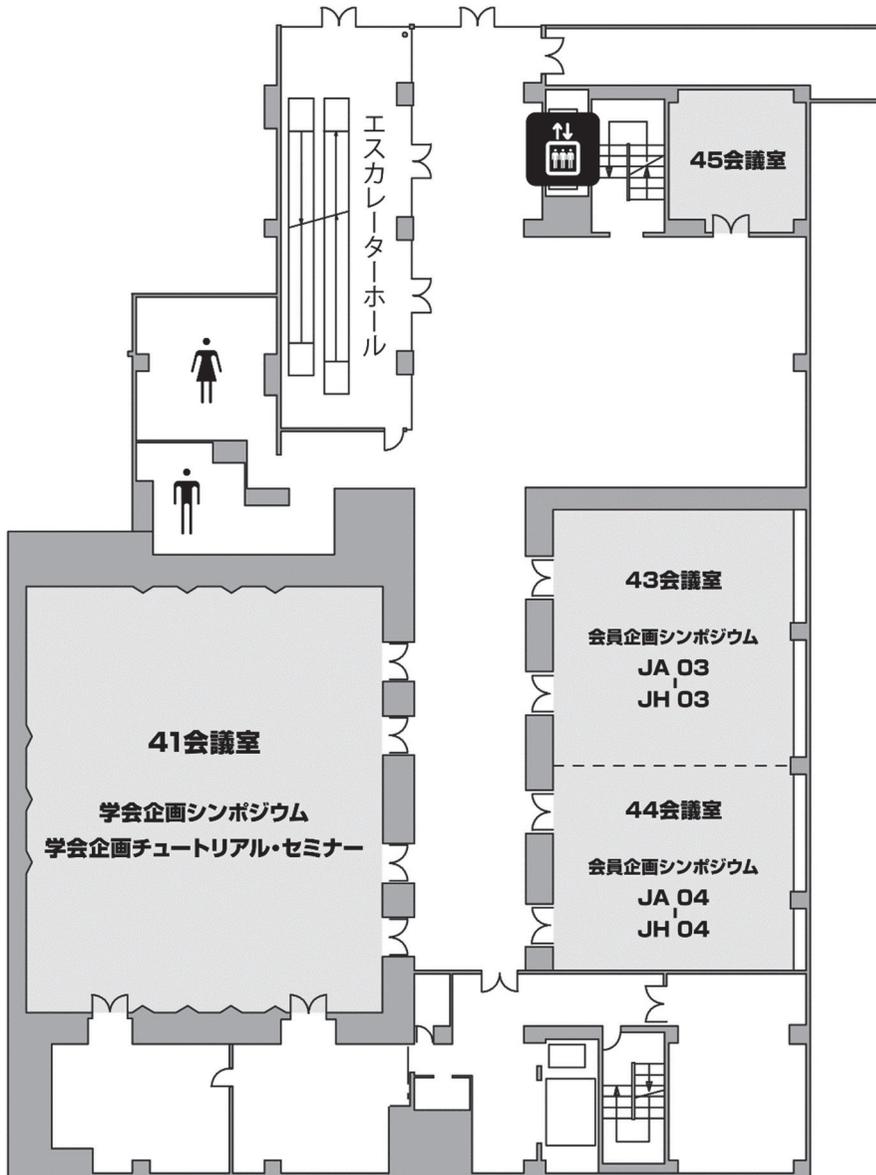
アクトシティ浜松
コンgresセンター3F



会場フロアマップ 4F

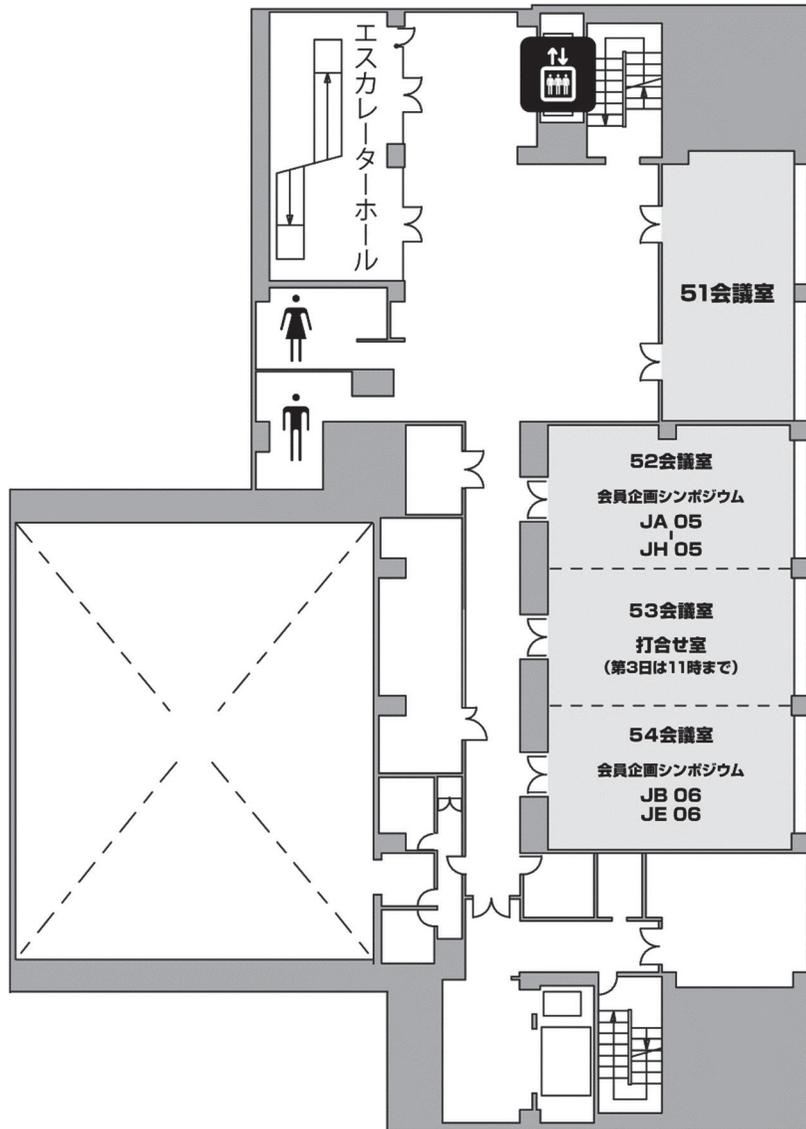
4F

アクトシティ浜松
コンgressセンター4F



5F

アクトシティ浜松
コンgresセンター5F



参加者へのご案内

1. 参加申込み

参加される会員の方は、総会ホームページ

<https://www.edupsych.jp/2024-annual-meeting>

の「会員の方の参加申込み」ボタンより、事前にお申込みください。

会員でない方は総会ホームページの「会員でない方の参加申込み」ボタンより、また学部学生の方は「学部学生の方の参加申込み」ボタンより、事前にお申込みください。

2. 参加費のお振込み

お申込みいただいた方へは、振込先等を郵送またはメールでお知らせします。

参加費は事前にお振込みをお願いします。もし事前にお振込みができなかった場合は、浜松アクティシティ内郵便局も利用できます。

<総会参加費>

会員（一般）	11,000 円
会員（大学院生）	4,000 円
会員外（一般・大学院生）	12,000 円
学部学生	1,000 円

※ 会員外のポスター連名発表者が総会に参加される場合は、お振込み済みの会員外連名発表費と会員外参加費との差額 5,000 円で参加できます。

※ 会員外の会員企画シンポジウム登壇者が当該のシンポジウム以外で総会に参加される場合は、お振込み済みの会員外登壇者参加費と会員外参加費との差額 5,000 円で参加できます。

3. 参加章およびプログラム等引換券

参加費をお振込みいただいた方へは、参加章およびプログラム等引換券をメールでお送りします。

参加章およびプログラム等引換券をキリトリ線で切り離し、必ず会場にご持参ください。

4. 受付

1 階のエントランスロビーにて、ご持参いただいたプログラム等引換券を提出し、参加章ホルダーおよびプログラム等をお受け取りください。

ご持参いただいた参加章を参加章ホルダーに入れ、会場では必ずお付けください。

5. 会員外の会員企画シンポジウム登壇者で当該シンポジウムのみに参加される方

直接、3 階ロビーの総合受付にお越しください。

6. クローク

1階エントランスロビーのクロークにて、荷物をお預かりいたします。預ける荷物には、貴重品を含めないようにお願いします。利用時間は以下の通りです。

<利用時間>

第1日 9:00～18:30

第2日 9:00～18:00

第3日 9:00～15:30

7. 打合せ室

5階の53会議室をご利用ください。電源も用意しています。第3日の利用は11時までです。

<利用時間>

第1日 9:30～18:00

第2日 9:30～17:30

第3日 9:30～11:00

8. インターネットの利用

会場の2階～5階の各部屋とロビーで、フリーWi-Fiが利用できます。

9. 託児サービス（無料）

会期中、託児室を設けますので、どうぞご利用ください。

<利用時間>

第1日 9:30～18:30

第2日 9:00～18:00

第3日 9:00～15:30

ご利用希望の方は、9月1日（日）までに学会事務局（office@edupsych.jp）へご連絡ください。折り返し、申込み書等をお送りします。

10. シンポジウム等の録音・録画

シンポジウム等の録音・録画については、著作権および肖像権の保護のため、司会者より録音・録画を許可する旨のアナウンスがある場合を除き、お控えください。

11. 連絡先

日本教育心理学会事務局 E-mail: office@edupsych.jp

Tel: 03-3818-1534 Mobile: 090-7907-0084

ポスター発表

1. ポスター発表の会場は、3階の31会議室です。
2. 「発達」、「教授・学習・認知」、「社会」、「人格」、「臨床」、「特別支援」、「学校心理学」、「測定・評価・研究法」の8部門で行います。
3. 責任発表者は、セッション開始10分前までに、ポスター発表会場入口前のポスター発表受付にお越しください。責任発表者を示すリボンをお渡しします。リボンはセッション終了後にポスター発表受付にご返却ください。
4. セッション開始5分前までに発表会場の指定された番号のパネルにポスターを貼ってください。
5. パネルの大きさは、横90cm、縦180cmです。ポスター最上部に発表題目、発表者の氏名、所属を大きく記載してください。
6. 文字の大きさに特に指定はありませんが、ポスターから離れた位置（約2m）からでも読める大きさにしてください。
7. 割り当てられたセッション中（2時間）ポスターを掲示し、かつ、ポスター番号が奇数の方は前半1時間、偶数の方は後半1時間の在席責任時間の間、質疑に応じるにより正式発表とみなします。在席責任時間以外もできるだけ在席して、質問等にご対応ください。なお、それぞれの在席責任時間中に、責任発表者の在・不在を確認します。
8. 責任発表者が欠席した場合、および在席責任時間中に在席の確認ができなかった場合は原則「発表取消」となります。ただし、連名発表者の会員がいる場合は、申請のうえ、連名発表者の会員1人を責任発表者に変更することができます。なお、責任発表者になるのは1人1回に限りますので、他の発表の責任発表者になっている方に変更することはできません。責任発表者の欠席、変更などについては、会期前はメールで学会事務局に、会期中は当該発表の30分前までに3階ロビーの総合受付にご連絡ください。
9. 配付資料がある場合は、必要部数を各自で事前にご用意ください。また、配付も各自でお願いします。
10. 掲示したポスターは、セッション終了後10分以内に外してください。次の発表予定者の準備時間を確保するために、終了後10分を経過しても掲示したままのポスターは取り外し、会期中にお申し出がなかった場合には処分しますのでご了承ください。

会員企画シンポジウム

1. 各会場にプロジェクターと HDMI ケーブルを用意します。パソコンは各自でご用意いただき、備え付けのプロジェクターに接続してください。
2. 配付資料は、各自で事前に印刷して配付するか、またはダウンロードできる URL をシンポジウム内で示すなどしてください。
3. 登壇者の欠席等については、会期前はメールで学会事務局に、会期中は当該シンポジウムの開始 30 分前までに 3 階ロビーの総合受付にご連絡ください。

総会日程 第1日 9月14日 (土)

		9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00
部屋名 (人数)											
4階 41会議室 (240)		学会企画シンポジウム1 「学力」はどうか 高まるか				学会企画シンポジウム2 創造性を高める 教育とは			学会企画シンポジウム3 教員による子ども への暴力はなぜな くならないのか		
			10:00		12:00		13:30		15:30 16:00		18:00
2階 21会議室 (110)		J A01 日本における感 謝研究の動向と 展望				J B01 モチベーション の親子間伝達を 議論する			J C01 地域課題解決へと 向かう教育者を育 てる教育心理学者 の七転八起		
2階 22会議室 (140)		J A02 教員養成におけ る体験と振り返 りのデザイン				J B02 実践家と研究者 の対等で相互互 恵的な関係に基 づく実践的研究 とは			J C02 学習科学はこれ からの教育に何 を貢献できるか		
4階 43会議室 (180)		J A03 地球規模の課題を エネルギーの視点 から探究する小中 学校での学習はど うあるべきか				J B03 教師による「真 正の問い」は何 をもたらすか			J C03 学校現場へのメン タルヘルス心理教 育普及における促 進要因と阻害要因		
4階 44会議室 (120)		J A04 対応の難しい子ど もたちへの教育・ 福祉・心理・医療 の連携の取り組み				J B04 ソーシャル・ エモーシヨナ ル・ラーニング			J C04 通常の学級にお いて児童生徒同 士の相互交流を 促す取り組み		
5階 52会議室 (70)		J A05 学校法人が運営 する「学びの多 様化学校」への 期待				J B05 X自治体における いじめ実態調査			J C05 私立小中高等学校 と特別支援学校に おけるスクールカ ウンセリングの相 違点を整理し支援 体制を模索する		
5階 54会議室 (70)						J B06 心理尺度におけ る順序関係・順 序構造をめぐっ て					
			10:00		12:00		13:30		15:30 16:00		18:00
3階 31会議室		ポスター発表 P A 書籍展示				ポスター発表 P B 書籍展示			ポスター発表 P C 書籍展示		

総会日程 第2日 9月15日(日)

		9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00
部屋名(人数)											
4階 41会議室 (240)		学会企画シンポジウム4 良い心・悪い心の「裏側」を探る				学会企画シンポジウム5 通常の学級に在籍する発達障害児の理解と支援		学会企画チュートリアル・セミナー 教育心理学研究のための欠測データ処理			
		9:30		11:30		13:00		15:00 15:30		17:30	
2階 21会議室 (110)		J D01 自己調整学習を教育現場に浸透させるには				J E01 短編物語データベースの未来		J F01 認知能力と社会情動的スキルの発達			
2階 22会議室 (140)		J D02 学校適応はどのようにとらえられるのか(15)				J E02 学業不振の学習支援に役立つ説明のあり方とは?		J F02 自己調整学習をどう指導・支援するか			
4階 43会議室 (180)		J D03 再任用教員のワーク・エンゲイジメントを高める要因は何か				J E03 保護者によるエデュケーション・マルチリポートメントの理解と支援		J F03 生徒指導提要の改定と新たな研究テーマの設定			
4階 44会議室 (120)		J D04 発達障害・境界知能の子どもへのコグトレの実践と理解				J E04 ポジティブ生徒指導の動向(9)		J F04 様々な逆境下において子どものレジリエンスを支えるには			
5階 52会議室 (70)		J D05 学校は児童生徒のメンタルヘルスのために何ができるか				J E05 文系学生に対する心理統計教育		J F05 いじめの予防教育に向けたメディアとの効果的な協働の在り方について			
5階 54会議室 (70)						J E06 学校における協働実践研究の変革可能性					
		9:30		11:30		13:00		15:00 15:30		17:30	
3階 31会議室		ポスター発表 PD 書籍展示				ポスター発表 PE 書籍展示		ポスター発表 PF 書籍展示			

総会日程 第3日 9月16日 (月・祝)

		9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00
部屋名 (人数)											
4階 41会議室 (240)		学会企画シン ポジウム6 インクルーシブ 教育と心理学				学会企画シン ポジウム7 学校不適應・過 剩適應の教育心 理学					
		9:30		11:30		13:00		15:00			
2階 21会議室 (110)		J G01 いかにして英語 のやり取り力を 育むのか				J H01 小中接続期の社 会情緒的能力の 育ちと学校環境					
2階 22会議室 (140)		J G02 授業を意味づける (8) 物語文の読み方 を学ぶ国語科授業実 践から教育心理学者 は何を語るか				J H02 移民の子どもに とってアート活動 はどのような意味 をもつのか？					
4階 43会議室 (180)		J G03 幼稚園・保育所 における保護者 支援の現状と保 育者への心理的 ケア				J H03 ウェルビーイン グ・コンピテン シーの育成に向 けて					
4階 44会議室 (120)		J G04 社会性と感情の 学習 (SEL) の 小・中・高等学 校における実践 (1)				J H04 チーム学校の実 現に向けた4職種 合同多職種連携 教育プログラム					
5階 52会議室 (70)		J G05 不登校に関連す る要因と必要な 支援				J H05 「心理教育プロ グラム&フレー ム」情報プラッ トフォーム作成 の試み					
5階 54会議室 (70)											
		9:30		11:30		13:00		15:00			
3階 31会議室		ポスター発表 PG 書籍展示				ポスター発表 PH 書籍展示					

学会企画シンポジウム 1

第1日 9月14日(土) 10:00~12:00

4階 41会議室

「学力」はどう高まるか ——教育心理学からのアプローチ——

企画・指定討論：藤村宣之（東京大学）

企画・指定討論：岡本真彦（大阪公立大学）

企画・司会：高橋雄介（京都大学）

話題提供：佐藤誠子（東北大学）

思考の道具としての知識の学習をいかに促すか

——「知識・技能」に関連して——

話題提供：鈴木 豪（群馬大学）

多様な考えをどのように扱いどのように引き出すか

——「思考力・判断力・表現力」に関連して——

話題提供：伊藤崇達（九州大学）

「学力」の形成過程を支える自己調整学習

——「主体的に学習に取り組む態度」に関連して——

教育心理学や発達心理学の領域では、知識、思考、問題解決、理解、動機づけ、社会性などについての様態や変化、規定因や促進要因など、幅広い意味で「学力」に関連する理論的・実証的研究が重ねられてきている。一方、学校教育では「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体的に学習に取り組む態度」といった「学力の三要素」が教育実践を通して育むべき学力と位置づけられてきているが、教育実践において各要素の内実や相互の関連性、それらの形成過程などが必ずしも明確にされているとはいえないと考えられる。2023年度の第65回総会ではこのような問題意識から「「学力」とは何か—あらためて心理学から問い直す—」をテーマにシンポジウムを開催して議論を行い、教育心理学領域の実証的研究から、学力の「要素」やその形成過程が相互に密接に関連していることなどが明らかになった。その議論をベースとしながら、特に「学力」の形成過程や促進要因などに焦点をあてて、授業場面を直接対象としない実証的研究も含めて「学力」に関連する内容が高まるプロセスやメカニズムを心理学的に明らかにし、教育実践の課題について検討するシンポジウムとしたい。

創造性を高める教育とは

- 企画・司会 : 高橋雄介 (京都大学)
- 企画・指定討論 : 外山美樹 (筑波大学)
- 話題提供 : 石黒千晶 (聖心女子大学)
学校教育と創造的自己信念
- 話題提供 : 渡邊智也 (ベネッセ教育総合研究所)
演劇を活用した学習活動における創造的側面
- 話題提供 : 澤田和輝 井 (京都大学)
青年期初期の親の自律的支援と創造的動機づけと創造性
の縦断的関連
- 指定討論 : 清河幸子 (東京大学)

創造性は、21 世紀型コンピテンシーの 1 つとして掲げられ、急速に事態が変化しやすい現代社会にあっても、人工知能では再現できない能力として注目されている。創造性は、私たち人間が自分自身やまわりの世界に対する独自の視点やアイデンティティを発見し、それを表現する手段を提供する素地となり、教育、芸術、科学、ビジネスなどさまざまな領域で成功するための要因になり得ると考えられている。創造的な表現活動を通じて、私たちは自己を理解し、他者とのつながりを深めることができる。あわせて、創造性は、表現活動に関連することのみならず、問題一般に対して新しいアプローチやアイデアを生み出す源泉でもあり、私たちは創造的に考えることによって日常的問題や課題に対して柔軟かつ効果的な解決策を見つけることができる。本シンポジウムでは、この創造性を高めるためにはどのような教育・環境・仕組みが可能であるのかについて、最新の研究成果を話題提供しつつ、議論したい。

教員による子どもへの暴力はなぜなくなるのか ——ことばの暴力や心理的暴力を視野に入れて——

- 企画・司会 : 佐藤有耕 (筑波大学)
企画・指定討論: 尾見康博 (山梨大学)
部活の文化心理学の立場から
話題提供 : 渋谷崇行 (桐蔭横浜大学)
コーチ育成の立場から
話題提供 : 大対香奈子 (近畿大学)
行動分析学の立場から
話題提供 : 西田公昭# (立正大学)
マインド・コントロールの立場から
指定討論 : 鹿毛雅治 (慶應義塾大学)
教員養成や動機づけなど広い視点から

2022年度に子どもへの体罰で懲戒処分などを受けた公立学校教員の数は全国で397人となり、大阪市立桜宮高校での事件により調査方法が変わった2013年度以降初めて増加に転じた(文部科学省, 2023)。懲戒処分にならなかった事例やそもそも調査で把握できない事例があることもふまえると、いぜんとして一定程度の教員が体罰に無自覚、あるいは体罰を肯定していると考えざるを得ない。いまだき教員が聖職者である必要はないが、少なくとも社会のルールや法律を守る社会人であることは当然求められる。そしてそれが子どもの人権に係る案件であればなおのことである。桜宮高校の事件以来、それまで以上に体罰がさまざまなメディアで否定され、文部科学省からも体罰を禁止する通達がなされてきたにもかかわらず、なぜ教員による体罰がそれなりにまかり通っているのか、本シンポジウムではまず、この基本的な問いについて考えたい。また、教員によることばの暴力や心理的暴力にあまり目が向けられていない背景についても検討し、教師不足が叫ばれるなか、教員養成のプロセス、あるいは現職教員の研修等でできることがないのか、議論したい。

良い心・悪い心の「裏側」を探る
——心理学概念の望ましさをめぐる諸問題——

- 企画・司会 : 澤田匡人 (学習院女子大学)
企画・指定討論: 小塩真司 (早稲田大学)
話題提供 : 野崎優樹 (甲南大学)
情動知能の望ましさをどう捉えるか
話題提供 : 江上園子 (横浜市立大学)
母性愛に焦点をあてて
話題提供 : 山岡明奈 (沖縄国際大学)
マインドワンダリングに焦点をあてて
話題提供 : 飯村周平 (創価大学)
環境感受性の良し悪し (for better or for worse)

近年、教育場面において「非認知能力」への注目が高まりを見せ、種々の教育実践が行われてきている。このような能力だけでなく、時間や場所を越えて比較的安定したパーソナリティを含めて、望ましい側面を促進し、望ましくない側面を抑制すべきだ、という論調がある。しかしながら、ある特定の概念について、何をもって「良い」「悪い」とするか判断は、それらの概念の一部分に光を当てているに過ぎないため、曖昧な点が少なくない。そこで本シンポジウムでは、一般的に良いとされる概念の悪い側面、悪いとされる概念の良い側面といったように、いくつかの概念に焦点を当てながら、それらの「裏側」に迫る。

通常の学級に在籍する発達障害児の理解と支援 ——自他理解の発達をふまえて——

- 企画・司会 : 別府 哲 (岐阜大学)
企画 : 谷口明子 (東洋大学)
話題提供 : 藤野 博# (東京学芸大学)
自閉スペクトラム症児の自他理解の発達と支援
——心の理論の観点から——
話題提供 : 森村美和子# (東京都狛江市立狛江第三小学校)
発達障害児の当事者研究の実践
——通常の学級との連携を踏まえて——
話題提供 : 古村真帆 (神戸大学)
通常学級の児童は発達障害児の個別支援をどうとらえる
のか
企画・指定討論: 米田英嗣 (青山学院大学)

2022年度末文科省は、通常学級(小学校)に在籍する発達障害児の推定値を8.8%と公表した。発達障害児だけに限らず、特別な教育的ニーズ(Special Needs for Education; SNE)を有する子どもは通常学級に数多く存在し、その支援は教育現場において喫緊の課題となっている。今回はそれを、自他理解の発達との関連で検討する。一つは発達障害児自身の自他理解の発達とその支援についてである。知的に遅れの無い自閉スペクトラム症児の二次障害は、周囲の無理解とそれを理解できる本人の発達(9歳すぎに心の理論を獲得すること)が、その一つの要因となることが指摘されている。AD/HDや限局性学習症においても、9,10歳を超えることによる自他理解の発達が、障害や自己の理解を変化させるといわれる。自他理解の発達を踏まえた支援が必要となる。二つは、障害を持たない子ども自身の発達である。通常学級での支援は教師の個別支援にとどまらず、通常学級の子ども集団が発達障害児をどう理解し関わるかが重要となる。障害を持たない子ども9,10歳の節で自他理解が変化し、それは発達障害児の理解や関わり方にも影響を及ぼす。それを踏まえた障害を持たない子どもへの支援の在り方の検討は必要不可欠である。今回は、発達障害児と障害の無い子どもの自他理解の発達をもとに、通常学級における発達障害児の支援の在り方について検討することとしたい。

インクルーシブ教育と心理学 ——差別の現実から深く学ぶ——

- 企画・話題提供：栗田季佳 (三重大学)
排除・抑圧と向き合うインクルーシブ教育に心理学はどう応えるか
- 企画・司会：仲 真紀子 (理化学研究所)
話題提供：北原モコットウナシ# (北海道大学)
つないでほどく アイヌ/和人
- 話題提供：呉 永鎬# (鳥取大学)
差別の歴史性・構造的性
——朝鮮学校へのヘイトクライムを事例に
- 話題提供：岸 航平# (金子書房)
心理学は差別と向き合ってきたか
——同性愛に対する差別から考える
- 指定討論：楠見 孝 (京都大学)

インクルーシブ教育とは教育における排除や抑圧に対する抵抗の概念として生まれた、教育における人権を表し、かつ保障するシステムである。近年、関心の高まりの一方で、「インクルーシブ教育は障害や特別支援教育の問題である」「みんなで一緒に学ぶことは何らかの教育効果を高める」といった、源流と異なる理解もみられる。本企画では、もう一度インクルーシブ教育の本質に立ち戻り、日本における排除や差別を見つめることから始め、教育心理学が取り組むべき課題について議論する。また、本企画では当事者の方々に多くご登壇いただき、当事者の声を中心におくという、インクルーシブ教育の理念を取り入れたシンポジウムという特徴も併せ持つ。話題提供者の栗田は、インクルーシブ教育の基本的な概念を整理し、障害をめぐる差別と抑圧に対する教育心理学の課題を話題提供する。北原氏にはアイヌ差別の現状について、呉氏には、朝鮮学校を事例に差別の歴史と構造について話題提供いただく。岸氏には、教育場面における同性愛者に対する差別の現状、ならびにこれまで心理学が行ってきた研究を概観し、抑圧されてきた人々の経験をふまえた、教育心理学のオルタナティブなアプローチをご提示いただく。指定討論に楠見氏を招き、インクルーシブ教育を踏まえた心理学の課題について論点を示していただきながら、話題提供者、参加者とともに考えたい。

学校不適合・過剰適応の教育心理学 ——不登校の未然防止を目指して——

- 企画・話題提供：高橋雄介（京都大学）
企画・指定討論：伊藤美奈子（奈良女子大学）
企画・司会：西山久子（福岡教育大学）
話題提供：石津憲一郎（富山大学）
過剰適応に関連した子どもの苦戦とその支援
話題提供：清水 恵#（福岡市立舞鶴中学校）
多様な不登校傾向の生徒への個に応じた対応の組織化
話題提供：関 和浩#（久留米市教育委員会）
不登校予防の視点を含めた校務支援システム
話題提供：鈴木美樹江（愛知教育大学）
学校不適合の早期検知のための会津美里町の取り組み
指定討論：新井 肇（関西外国語大学）

子どもたちが日常的に生活を送る場所は、多くの場合、学校であり、学級であるが、文部科学省（2023）によれば、小中学校における不登校児童生徒数は前年度比で20%以上増加し、約30万人となった。子どもたち自身の意思で自由に選択できるわけではない学校や学級は、彼らにとって果たして適切な生活環境となっているかどうか問われている。子どもたちが学校に行きたくない感じがしてしまうとき、それはどのような時、どのような要因で、どのようなことが起こっているのか。そして、子どもが自分自身を抑制し、周囲の環境に必要な以上に合わせようとした結果生じ得る過剰適応もまた問題である。学校不適合・過剰適応を呈することのリスク要因とそれに陥らないようにするための保護要因にはどのようなことが考えられるか。本シンポジウムでは、教育心理学の観点から、学校・学級という場所が子どもたちにとって居心地のよい（悪くない）場所・環境となるためには、どのようなことが求められるのかについて知見を交換し、学校不適合・過剰適応の背景にある要因やそれを防ぐための手立てについて、理論と実践の両面から探求し、より良い教育環境の構築に向けて議論を行う。

学会企画チュートリアル・セミナー

第2日 9月15日(日) 15:30~17:30
4階 41会議室

教育心理学研究のための欠測データ処理

企画・司会・話題提供：鈴木雅之（横浜国立大学）

統計ソフトウェア R での分析例

企画・話題提供：宇佐美 慧（東京大学）

完全情報最尤推定法と多重代入法

話題提供：杉澤武俊（早稲田大学）

欠測が生じるメカニズムと古典的な方法

教育心理学研究において、データの欠測は悩ましい問題である。欠測データの処理としては、削除法（リストワイズ削除・ペアワイズ削除）や、代表値などを代入する単一代入法が伝統的に利用されてきた。しかし、これらの方法は、欠測が完全にランダムに生じているとき（missing completely at random; MCAR）以外は、推定にバイアスが生じてしまう。また、MCARであっても、たとえばリストワイズ削除の場合、サンプルサイズが小さくなるために検定力が低下するなどの問題が生じる。そのため、これらの方法に代わるものとして、完全情報最尤推定（full information maximum likelihood; FIML）法や多重代入（multiple imputation; MI）法の利用が推奨されているものの、国内の教育心理学研究では十分に活用されていない。そこで本チュートリアル・セミナーでは、欠測が生じるメカニズムと、古典的な方法の問題点について理解を深め、FIML法とMI法の考え方、および統計ソフトウェア R での実行方法について理解することを目的とする。

会員企画シンポジウム

〈#印は会員以外の登壇者を示します〉

第1日 9月14日(土) 10:00~12:00 2階 21会議室

JA01 日本における感謝研究の動向と展望 —児童・青年期の発達に注目して—

企画・話題提供	新潟県立大学	藤原健志
企画・司会・話題提供	順天堂大学	村上達也
企画・話題提供	和洋女子大学	池田幸恭
指定討論	滋賀大学	蔵永 瞳

第1日 9月14日(土) 10:00~12:00 2階 22会議室

JA02 教員養成における体験と振り返りのデザイン

企画・司会	沖縄県立芸術大学	城間祥子
企画	北海道大学	伊藤 崇
企画	国土館大学	郡司菜津美
話題提供	福井大学	廣澤愛子
話題提供	大分大学	森下 覚
指定討論	関西福祉科学大学	久保田祐歌 #
指定討論	青山学院大学	高木光太郎

第1日 9月14日(土) 10:00~12:00 4階 43会議室

JA03 地球規模の課題をエネルギーの視点から探究する小中学校での学習はどうあるべきか

企画・司会・話題提供	福山市立瀬戸小学校	藤江浩子
話題提供	安芸太田町立加計中学校	栗栖裕司 #
話題提供	三次市立甲奴中学校	佐伯貴昭 #
話題提供	北海道教育大学釧路校	境 智洋 #
指定討論	元関西福祉大学	金沢 緑 #

第1日 9月14日(土) 10:00~12:00 4階 44会議室

JA04 対応の難しい子どもたちへの教育・福祉・心理・医療の連携の取り組み

話題提供		手島教介	#
話題提供		笠松聡子	#
話題提供		富田 拓	#
話題提供		大原天青	#
指定討論	三重大学	松浦直己	
企画・司会	埼玉大学	萩生田伸子	

第1日 9月14日(土) 10:00~12:00 5階 52会議室

JA05 学校法人が運営する「学びの多様化学校」への期待

企画・司会	岩手県立大学	井上孝之	
指定討論	群馬大学	音山若穂	
話題提供	ろりぼっふ学園	八巻寛治	#
話題提供	ろりぼっふ学園	千葉史奈	#
話題提供	西濃学園	加納博明	#
話題提供	西濃学園	太田宣子	#

第1日 9月14日(土) 13:30~15:30 2階 21会議室

JB01 モチベーションの親子間伝達を議論する

企画・司会・話題提供	大阪大学	後藤崇志	
話題提供	東京理科大学	西村多久磨	
話題提供	南山大学	解良優基	
指定討論	帝京大学	敷島千鶴	#
指定討論	白百合女子大学	菅原ますみ	#

第1日 9月14日(土) 13:30~15:30 2階 22会議室

JB02 実践家と研究者の対等で相互互恵的な関係に基づく実践的研究とは
—学校現場での協働的研究から教育研究交流会の試みまで—

企画・司会・話題提供	東京大学	植阪友理	
話題提供	東京大学大学院	柴 里実	
話題提供	東京大学大学院	内田奈緒	
話題提供	東京大学大学院	劉 夢思	
指定討論	上智大学	奈須正裕	

第1日 9月14日(土) 13:30~15:30 4階 43会議室

会員
9/14

**JB03 教師による「真正の問い」は何をもたらすか
—発問を通じた教師の学びとあり方—**

企画・司会・話題提供	浜松学院大学	野口紗生
企画・話題提供	常葉大学	渡辺涼子 #
話題提供	尚綱大学短期大学部	佐竹貴明 #
指定討論	長野短期大学	畔上一康 #
指定討論	早稲田大学	宮崎清孝

会員
9/15

会員
9/16

第1日 9月14日(土) 13:30~15:30 4階 44会議室

PA
9/14

**JB04 ソーシャル・エモーショナル・ラーニング
—SELの今とこれから—**

企画・司会	環境とところとからだの研究所	宮崎 昭
企画	徳島文理大学	松本有貴
話題提供	JICA/モザンビーク	岡本啓史 #
話題提供	白百合女子大学	眞榮城和美
話題提供	郁文館夢学園	鈴木水季 #
話題提供	福岡教育大学	山田洋平
指定討論	学習院大学	秋田喜代美

PB
9/14

PC
9/14

PD
9/15

第1日 9月14日(土) 13:30~15:30 5階 52会議室

PE
9/15

**JB05 X 自治体におけるいじめ実態調査
—開始までの経緯と経過報告—**

企画・話題提供	静岡大学	金子泰之
企画・話題提供	中央大学	都筑 学
司会	東京都立大学	岡田有司
指定討論	常葉大学	太田正義
指定討論	北海道教育大学旭川校	水野君平

PF
9/15

PG
9/16

第1日 9月14日(土) 13:30~15:30 5階 54会議室

PH
9/16

JB06 心理尺度における順序関係・順序構造をめぐって

企画・話題提供	大阪工業大学	酒井恵子
話題提供	早稲田大学	松居辰則 #
話題提供	大阪教育大学	戸田有一
指定討論	名古屋大学	石井秀宗

第1日 9月14日(土) 16:00~18:00 2階 21会議室

JC01 地域課題解決へと向かう教育者を育てる教育心理学者の七転八起
—準正課プロジェクトにおいて学生のエンジェンシーを引き出すには—

企画・話題提供	愛媛大学	富田英司
企画・話題提供	高知大学	野中陽一郎
企画・話題提供	信州大学	三和秀平
企画・司会	京都工芸繊維大学	坪田 康 #
指定討論	東京大学	藤江康彦
指定討論	弘前大学	古村健太郎

第1日 9月14日(土) 16:00~18:00 2階 22会議室

JC02 学習科学はこれからの教育に何を貢献できるか

企画・司会・話題提供	東京大学	一柳智紀
企画・話題提供	福島大学	坂本篤史
話題提供	早稲田大学	望月俊男
指定討論	静岡大学	大島 純 #

第1日 9月14日(土) 16:00~18:00 4階 43会議室

JC03 学校現場へのメンタルヘルス心理教育普及における促進要因と阻害要因

企画・司会・指定討論	早稲田大学	嶋田洋徳
企画・話題提供	桜美林大学	小関俊祐
話題提供	所沢市立泉小学校	伊東真吾 #
話題提供	川越市立高階中学校	須澤美和子 #
話題提供	埼玉県教育委員会	原 剛 #
話題提供	早稲田大学	西中宏吏 #
話題提供	早稲田大学大学院	長沼千夏
話題提供	京都橘大学	杉山智風
指定討論	早稲田大学	桂川泰典

第1日 9月14日(土) 16:00~18:00 4階 44会議室

JC04 通常の学級において児童生徒同士の相互交流を促す取り組み
—児童生徒同士をつなぐ支援に注目して—

企画・司会・話題提供	早稲田大学	高橋 幾
話題提供	東京大学大学院	関 大也
話題提供	元道志村立道志中学校	杉本賢二 #
指定討論	神奈川県立保健福祉大学	深沢和彦

JC05 私立小中高等学校と特別支援学校におけるスクールカウンセリングの相違点を整理し支援体制を模索する

企画・話題提供	東京農工大学	三浦巧也
話題提供	明治学院大学	日下虎太郎
話題提供	目白大学	堂山亜希 #
司会・指定討論	東京学芸大学	橋本創一

会員
9/14

会員
9/15

会員
9/16

PA
9/14

PB
9/14

PC
9/14

PD
9/15

PE
9/15

PF
9/15

PG
9/16

PH
9/16

第2日 9月15日(日) 9:30~11:30 2階 21会議室

JD01 自己調整学習を教育現場に浸透させるには

企画・司会・話題提供	学習院大学	篠ヶ谷圭太
企画・話題提供	東京大学	市川伸一
話題提供	帝京大学	木澤利英子
指定討論	名古屋大学	中谷素之

第2日 9月15日(日) 9:30~11:30 2階 22会議室

JD02 学校適応はどのようにとらえられるのか(15)
—集団に注目した新たな研究の展開—

企画・司会	東京都立大学	岡田有司
企画	香川大学	大久保智生
企画	北海道教育大学	半澤礼之
企画・話題提供	北海道教育大学旭川校	水野君平
話題提供	北海道大学大学院	鈴木修斗
話題提供	共愛学園前橋国際大学	唐 音啓 #
指定討論	大阪教育大学	庭山和貴
指定討論	香川大学	金網知征

第2日 9月15日(日) 9:30~11:30 4階 43会議室

JD03 再任用教員のワーク・エンゲイジメントを高める要因は何か
—役職定年者の心理的支援と活用の可能性—

企画・話題提供	早稲田大学大学院	生貝博子
指定討論	早稲田大学	河村茂雄
話題提供	大和大学	茂呂輝夫
話題提供	早稲田大学大学院	谷戸玲子
話題提供	早稲田大学大学院	田上幸雅

第2日 9月15日(日) 9:30~11:30 4階 44会議室

JD04 発達障害・境界知能の子どもへのコグトレの実践と理解

企画	NPO法人 SKILLS カウンセリングセンター	飯島博之
司会	大阪府スクールカウンセラー	椋橋由衣
話題提供	日本 COG-TR 学会	井阪幸恵 #
話題提供	東京教育専門学校	吉田梨乃
指定討論	福岡女学院	斎藤富由起
指定討論	淑徳大学	守谷賢二
指定討論	千里金蘭大学	小野 淳

JD05 学校は児童生徒のメンタルヘルスのために何ができるか

企画・司会・話題提供	久留米大学	吉良悠吾
話題提供	同志社大学	石川信一
話題提供	大阪市立十三中学校	鳥飼正葵
指定討論	北海道大学	加藤弘通

**JE01 短編物語データベースの未来
—分野横断的研究による成果—**

企画・司会	法政大学	福田由紀	
話題提供	大正大学	井関龍太	
話題提供	法政大学	菊池理紗	
話題提供	淑徳大学	常深浩平	
話題提供	日本大学	望月正哉	#
話題提供	関西外国語大学	石原雅子	#
指定討論	筑波大学	長田友紀	
指定討論	一橋大学大学院	伊藤拓人	#

**JE02 学業不振の学習支援に役立つ説明のあり方とは？
—理解状態のアセスメントと公認心理師等との連携—**

企画・話題提供	立命館大学	山本博樹
企画・司会	金沢学院短期大学	鈴木賢男
企画・話題提供	明治大学	伊藤貴昭
話題提供	東京大学	市川伸一
指定討論	日本女子大学	瀬尾美紀子
指定討論	早稲田大学	河村茂雄

第2日 9月15日(日) 13:00~15:00 4階 43会議室

**JE03 保護者によるエデュケーショナル・マルトリートメントの理解と支援
—学校教育, 心理臨床, 習い事の文脈から—**

企画・司会	福井大学	大西将史
企画・話題提供	福井大学	廣澤愛子
話題提供	福井大学	岸 俊行
話題提供	大阪大学	望月直人
話題提供	東京家政大学	新井豊吉 #
指定討論	一般社団法人ジェイス	武田信子 #

第2日 9月15日(日) 13:00~15:00 4階 44会議室

**JE04 ポジティブ生徒指導の動向 (9)
—対人関係と不登校への階層的支援モデル (PISSA) —**

企画	大阪産業大学	西口利文
企画・指定討論	南山大学	宇田 光
企画・司会	大阪産業大学	市川 哲
話題提供	安曇野市立豊科北小学校	工藤 弘
話題提供	東京学芸大学	松山康成
話題提供	東京未来大学	佐藤亮太郎
話題提供	滋賀県立草津養護学校	森本晃介
話題提供	阿南工業高等専門学校	福井龍太 #
指定討論	ポジティブ生徒指導・PISSA 研究会	有門秀記

第2日 9月15日(日) 13:00~15:00 5階 52会議室

**JE05 文系学生に対する心理統計教育
—心理学研究のための R を用いた Web 教材開発—**

企画・話題提供	横浜市立大学	山田剛史
企画	文京学院大学	村井潤一郎
企画・話題提供	早稲田大学	杉澤武俊
企画・話題提供	青山学院大学	寺尾 敦
指定討論	山梨大学	小野田亮介
話題提供	専修大学大学院	吉田光成

JE06 学校における協働実践研究の変革可能性

企画・話題提供	福井大学	岸野麻衣
企画・話題提供	福井大学	木村 優
司会・話題提供	東京大学	一柳智紀
話題提供	福井大学	山浦光雄 #
話題提供	新潟大学附属新潟中学校	橋本貴善 #
話題提供	新潟大学附属新潟中学校	田中健太 #
指定討論	国立教育政策研究所	白水 始

**JF01 認知能力と社会情動的スキルの発達
—行動遺伝学からの検討—**

企画・司会・話題提供	慶應義塾大学	川本哲也
話題提供	帝京大学大学院	山口天音 #
話題提供	帝京大学	敷島千鶴 #
指定討論	慶應義塾大学	安藤寿康

**JF02 自己調整学習をどう指導・支援するか
—学習方略・メタ認知・動機づけの視点から—**

企画・司会	名古屋大学	中谷素之
話題提供	日本女子大学	瀬尾美紀子
話題提供	九州大学	伊藤崇達
話題提供	東京大学	秋澤武志 #
指定討論	上智大学	奈須正裕

**JF03 生徒指導提要の改定と新たな研究テーマの設定
—課題未然防止教育の充実に向けて—**

企画	岡山大学	青木多寿子
司会	岡山大学	三沢 良
話題提供	今治市立鴨部小学校	宮川世名
話題提供	菅公学生服株式会社	麻田明日香 #
話題提供	兵庫教育大学大学院	原 範幸
指定討論	大阪教育大学	水野治久

JF04 様々な逆境下において子どものレジリエンスを支えるには
—予防から回復まで—

企画・話題提供	静岡大学	小林朋子
司会	法政大学	渡辺弥生
話題提供	愛知教育大学	五十嵐哲也
話題提供	埼玉学園大学	藤枝静暁
話題提供	東京共済病院	大沢かおり #
話題提供	聖心女子大学	小林真理子 #
話題提供	兵庫県立大学	富永良喜 #

JF05 いじめの予防教育に向けたメディアとの効果的な協働の在り方について

企画・司会	香川大学	金網知征
話題提供	TBS	川上敬二郎 #
話題提供	鳴門教育大学	阪根健二 #
話題提供	ジャーナリスト	秋山千佳 #
企画・指定討論	大阪教育大学	戸田有一

JG01 いかにして英語のやり取り力を育むのか
—小・中・高校における対話型英語スピーキング力向上を目指した実践から—

企画・話題提供	京都大学	マナロ エマニュエル
司会	名古屋大学	田中瑛津子
話題提供	京都大学	藍 予智 #
話題提供	京都大学	阿部由香梨 #
話題提供	東京大学	植阪友理
指定討論	名城大学附属高等学校	澤田麻衣 #
指定討論	京都教育大学附属京都小中学校	今西竜也 #
指定討論	東京家政大学附属女子中学校・高等学校	塩入潔乃 #

JG02 授業を意味づける(8) 物語文の読み方を学ぶ国語科授業実践から教育心理学者は何を語るか

企画・司会・話題提供	静岡大学	町 岳
企画・話題提供	学習院大学	秋田喜代美
企画・話題提供	慶應義塾大学	鹿毛雅治
話題提供	東京学芸大学	犬塚美輪
話題提供	静岡県三島市立北小学校	齋田裕子

JG03 幼稚園・保育所における保護者支援の現状と保育者への心理的ケア

企画・司会・話題提供	東京教育専門学校	吉田梨乃
企画・話題提供	淑徳大学	守谷賢二
話題提供	大阪成蹊大学	片岡章彦
指定討論	千里金蘭大学	小野 淳
指定討論	大阪府スクールカウンセラー	椋橋由衣
指定討論	福岡女学院	斎藤富由起

第3日 9月16日(月・祝) 9:30~11:30 4階 44会議室

JG04 社会性と感情の学習 (SEL) の小・中・高等学校における実践 (1)
—一次的援助サービスとしてのSELの実践—

企画・司会	聖徳大学	山口豊一
企画・話題提供	東京情報大学	原田恵理子
話題提供	埼玉学園大学	藤枝静暁
話題提供	東京成徳大学	小高佐友里
指定討論	福岡教育大学	西山久子

第3日 9月16日(月・祝) 9:30~11:30 5階 52会議室

JG05 不登校に関連する要因と必要な支援
—文部科学省委託事業、不登校要因調査の結果からわかること—

企画・司会・話題提供	公益社団法人 子どもの発達科学研究所	和久田 学
話題提供	浜松医科大学	西村 倫子
話題提供	明治学院大学	足立匡基
話題提供	大阪大学	平田郁子 #
話題提供	東北大学	高橋芳雄 #
指定討論	国立特別支援教育総合研究所	清重隆信 #

第3日 9月16日(月・祝) 13:00~15:00 2階 21会議室

JH01 小中接続期の社会情緒的能力の育ちと学校環境
—縦断調査研究に基づく検討—

企画・司会・話題提供	国立教育政策研究所	利根川明子
企画・司会	立命館大学	篠原郁子
指定討論	学習院大学	伊藤亜矢子
指定討論	東京大学	遠藤利彦 #
話題提供	東京都立大学	登藤直弥
話題提供	宇都宮大学	久保田(河本)愛子
話題提供	東京大学	島田大祐 #

第3日 9月16日(月・祝) 13:00~15:00 2階 22会議室

会員
9/14

JH02 移民の子どもにとってアート活動はどのような意味をもつのか？

企画・司会・話題提供	名寄市立大学	石本啓一郎
話題提供	明治学院大学	小林由利子
話題提供	千葉大学	本間祥子 #
話題提供	埼玉東萌短期大学	蓮見絵里
指定討論	城西国際大学	中川正臣 #
指定討論	埼玉大学	磯田三津子 #

会員
9/15

会員
9/16

第3日 9月16日(月・祝) 13:00~15:00 4階 43会議室

PA
9/14

JH03 ウェルビーイング・コンピテンシーの育成に向けて
—「わたしたちのウェルビーイングカード」を活用した学校教育の実践から—

企画・司会・話題提供	金沢工業大学	平 真由子
話題提供	日本電信電話株式会社	横山実紀 #
指定討論	日本電信電話株式会社	渡邊淳司 #
話題提供	大阪市立天王寺中学校	田窪真樹 #
話題提供	世田谷区立尾山台中学校	加瀬光太郎 #
指定討論	東京都市大学	坂倉杏介 #
指定討論	岡山大学	清田哲男 #

PB
9/14

PC
9/14

PD
9/15

第3日 9月16日(月・祝) 13:00~15:00 4階 44会議室

PE
9/15

JH04 チーム学校の実現に向けた4職種合同多職種連携教育プログラム
—関連職種の養成課程からみたコンピテンシーと学びについて—

企画・司会・話題提供	就実短期大学	荊木まき子
話題提供	就実大学	門原眞佐子
話題提供	創価大学	相樂直子
話題提供	就実大学	石原みちる #
話題提供	沖縄大学	平野貴大
指定討論	大阪教育大学	森田英嗣

PF
9/15

PG
9/16

PH
9/16

JH05 「心理教育プログラム&フレーム」情報プラットフォーム作成の試み
—ジャンル別プログラム&フレームの紹介と課題克服への道すじ—

企画・司会・話題提供	滋賀大学	芦谷道子
企画・司会	静岡大学	小林朋子
企画・話題提供	鳴門教育大学	山崎勝之
話題提供	鳴門教育大学	内田香奈子
話題提供	近畿大学	大対香奈子
話題提供	法政大学	渡辺弥生
指定討論	福岡教育大学	小泉令三
指定討論	兵庫県立大学	富永良喜 #

ポスター発表

〈○印は責任発表者、#印は会員以外の連名発表者を示します〉

ポスター発表 A

第1日 9月14日(土) 10:00~12:00 3階 31会議室

在席責任時間 奇数番号 10:00~11:00 偶数番号 11:00~12:00

発達

- | | | | | |
|-------|--|----------------------------------|-----------------------|---|
| PA001 | AcNas を用いたナラティブスキルの発達アセスメント (1)
—5種類の課題からみる発達過程— | 帝京平成大学
白百合女子大学 | ○瀬戸淳子
秦野悦子 | |
| PA002 | AcNas を用いたナラティブスキルの発達アセスメント (2)
—園生活の適応に困難を抱える事例— | 白百合女子大学
帝京平成大学 | ○秦野悦子
瀬戸淳子 | |
| PA003 | 児童生徒の認知発達と月齢差による相対年齢効果 | 大学入試センター
大学入試センター
大学入試センター | ○内田照久
橋本貴充
山地弘起 | # |
| PA004 | 父親の育児関与と育児動機づけが母親の育児ストレスに与える影響の検討 | 東京未来大学
東京未来大学
国立教育政策研究所 | ○大内善広
野澤義隆
萩原康仁 | |
| PA005 | 幼児における「養育者の養護行動」及び「自己の養護行動」の認識
—インタビュー調査からわかること— | 横浜創英大学 | 糊澤令子 | |
| PA006 | 就学前の子どもを育てている母親の子ども観と養育態度との関係 | 広島大学大学院
広島大学 | ○楊 依梵
清水寿代 | |
| PA007 | 朝の会における継続的なサークル対話が児童の自尊感情に与える影響 | 上越教育大学大学院
上越教育大学 | ○高橋弘樹
赤坂真二 | |

教授・学習・認知

- | | | | | |
|-------|--|--|---------------------------------------|------------------|
| PA008 | 教職科目「生徒指導・進路指導の理論と方法」における教師スキル獲得の検討 (1)
—事例検討における単語の出現回数と共起ネットワークの分析を通して— | 大和大学
東京学芸大学 | ○茂呂輝夫
瀧 光彦 | |
| PA009 | 教職科目「生徒指導・進路指導の理論と方法」における教師スキル獲得の検討 (2)
—事例検討における階層的クラスター分析を通して— | 東京学芸大学
大和大学 | ○瀧 光彦
茂呂輝夫 | |
| PA010 | 産学官連携による深い学びの視点を取り入れた全国学力調査の質的項目分析
—認知診断モデルによる理解の深さの診断と学校教育への展開 (1) — | 東京大学
東京大学大学院・日本学術振興会
内閣府
デロイト トーマツ コンサルティング合同会社
デロイト トーマツ コンサルティング合同会社 | ○植阪友理
佐宗 駿
新保俊史
永元隆雄
森田哲朗 | #
#
#
|

PA011	IRTによる小学校段階での学力の成長とつまずきの同定 —認知診断モデルによる理解の深さの診断と学校教育への展開 (2) —	名古屋大学 東京大学大学院・日本学術振興会 東京大学	○光永悠彦 佐宗 駿 植阪友理	#
PA012	定期テストのフィードバックの工夫と日々の指導への活用 —認知診断モデルによる理解の深さの診断と学校教育への展開 (3) —	東京大学大学院 東京大学大学院・日本学術振興会 静岡県立静岡西高等学校	○柴 里実 佐宗 駿 坂口卓也	# #
PA013	学校の教師が活用することを目指した Web ツール CDMWebTool の開発 —認知診断モデルによる理解の深さの診断と学校教育への展開 (4) —	大阪大学 東京大学大学院・日本学術振興会 東京大学	○仲谷佳恵 伊藤紘一 佐宗 駿 植阪友理	# #
PA014	中学国語授業におけるメタ認知的指導と自己調整学習の実践 —小説の読解・批評における読解方略の獲得と課題価値との関連—	北海道教育大学 札幌市立宮の丘中学校	○吉野 巖 藤倉大志	
PA015	深い学びを保证する教師のメタ認知の働き —授業についてのインタビュー調査による探索的検討—	北海道教育大学 北海道教育大学 北海道教育大学 北海学園大学	○懸田孝一 吉野 巖 宮崎拓弥 浅村亮彦	
PA016	友人関係への動機づけの違いと協同作業に対する認識の変化 —大学初年次教育における検討—	医療創生大学	名取洋典	
PA017	口頭説明場面における共通基盤意識の指導効果の検討 —対面説明とオンライン説明の比較をとおして—	公立はこだて未来大学 公立はこだて未来大学	○辻 義人 小林裕汰	#
PA018	低学年のプログラミング活動のグループワークにおける児童の社会性とプログラミング的思考の関連 —グループ単位の評価から—	玉川大学 玉川大学 玉川大学 玉川大学 玉川大学	○油川さゆり 高平小百合 鈴木美枝子 小酒井正和 大森隆司	# # #
PA019	交流場面における ICT 利活用が発表の効力感に与える効果の検討	帝京平成大学 共立女子大学	○齊藤 勝 井口武俊	
PA020	中学生及び高校生における教師の自律性支援への認知と失敗観	東京電機大学 福岡県立大学 山口県立大学 川崎医療福祉大学	○岩佐康弘 小林亮太 小田真実 則武良英	#
PA021	生徒に外国ルーツがあることは数学的リテラシーの規定要因と影響プロセスに寄与するのか？	国士舘大学	清水優菜	
PA022	視覚的支援を利用した授業レポートの工夫が生徒の知識の獲得に与える影響に関する研究 —中学校理科「生物の体のつくりとはたらき」の学習を通して—	倉敷市立倉敷第一中学校	山本卓也	
PA023	書領域における探索行為促進のための方法に関する実証的研究	東京大学大学院 獨協大学 東京大学	○畠田優衣 松本一樹 岡田 猛	#
PA024	視写活動は授業の理解と記憶を促すのか？	早稲田大学	高橋麻衣子	

社会

- PA025 教員からの自律性支援および教員に対するエンゲージメントが自己効力感・リーダーシップに及ぼす影響 (1)
—尺度間の関連—
- PA026 教員からの自律性支援および教員に対するエンゲージメントが自己効力感・リーダーシップに及ぼす影響 (2)
—因果関係の検討—
- PA027 教員からの自律性支援および教員に対するエンゲージメントが自己効力感・リーダーシップに及ぼす影響 (3)
—所属 (共学大学・女子大学) による因果関係の検討—
- PA028 感謝表出スキルと妬み感情の関連
—孤独感に着目して—
- PA029 怒りの社会的共有が出来事の認知および怒り感情に与える効果
—聞き手の反応による差異—
- 京都ノートルダム女子大学
京都ノートルダム女子大学
同志社女子大学
- 同志社女子大学
京都ノートルダム女子大学
京都ノートルダム女子大学
- 宇都宮大学
栃木県大田原市立金丸小学校
- 宮城学院女子大学
- 尾崎仁美
松島るみ
中村 愛
- 松島るみ
尾崎仁美
中村 愛
- 中村 愛
松島るみ
尾崎仁美
- 宮代こずゑ
田代雄大 #
- 木野和代

人格

- PA030 反応スタイルが抑うつおよびマインドフルネスの要素に及ぼす影響について
- 帝京平成大学
早稲田大学
- 島津直実
越川房子 #

臨床

- PA031 MMPI-3日本版を偽装的な受検態度で回答する
- PA032 高校までのアサーションの回想的知覚が大学生の過剰適応傾向に及ぼす影響
- 名古屋市立大学
- 宇都宮大学
小山市立大谷東小学校
- 鋤柄増根
- 川原誠司
石川真央 #

特別支援

- PA033 見発・放デイの指導者がもつ困難感と研修ニーズ(1)
- PA034 見発・放デイの指導者がもつ困難感と研修ニーズ(2)
- アール医療専門職大学
筑波大学
- 筑波大学
アール医療専門職大学
- 徳田克己
水野智美
- 水野智美
徳田克己

学校心理学

- | | | | |
|-------|---|-----------------------------------|--------------------------------|
| PA035 | ソーシャルスキルの個人内パターンと学級生活満足度との関連 (1)
—小学生を対象として— | 高知大学
東京理科大学
兵庫教育大学
順天堂大学 | ○福住紀明
西村多久磨
藤原和政
村上達也 |
| PA036 | ソーシャルスキルの個人内パターンと学級生活満足度との関連 (2)
—中学生を対象として— | 東京理科大学
高知大学
順天堂大学
兵庫教育大学 | ○西村多久磨
福住紀明
村上達也
藤原和政 |
| PA037 | Witmer の“Psychological Clinic”誌の論文タイトルからみた学校心理学 (2) | 千葉大学 | 大芦 治 |
| PA038 | 「居場所カフェ」に対する高校教員の意識
—千葉県公立高校2校の調査から— | 神田外語大学
一般社団法人麻布教育ラボ | ○武田明典
村瀬公胤 |
| PA039 | 新型コロナ禍の休校が高校生の生活行動と心身の状況にもたらした変化とは | 敦賀気比高等学校 | 坂本理香 |
| PA040 | 教師の道徳基準に関する基礎的研究
—学校種、勤続年数、性別間での比較— | 京都教育大学 | 安達知郎 |
| PA041 | 小・中学校におけるスクールカウンセラー活用の実態
—保護者を対象としたインターネット調査より— | 目白大学 | 渡邊はるか |
| PA042 | Q-U に見る臨床操作法肩開き課題の効果 | 東京福祉大学大学院 | 片岡弓人 |
| PA043 | 小学5年生から中学2年生における学校生活での困りごととその対応の関連
—トピックモデルに基づく自由記述の類型化— | 人間環境大学
人間環境大学 | ○徳岡 大
嘉瀬貴祥 |
| PA044 | 高校生の学校適応における学年制と単位制の比較
—生徒と教師の関係性に着目して— | 北海道情報大学
札幌新陽高等学校
札幌新陽高等学校 | ○渡邊 仁
田渕久倫
植田佑矢 #
|
| PA045 | 保護者におけるソーシャルサポートの現状とニーズの調査
—保護者と教師からのサポートを区別した検討— | 岐阜大学大学院
岐阜大学 | ○藤原史香
吉澤寛之 |
| PA046 | 多面的な児童アセスメントに焦点をおいた学校不適応の予防実践
—支援力の向上につなげる取組— | 大垣市立青墓小学校
岐阜大学 | ○大平麻里
吉澤寛之 |

測定・評価・研究法

- | | | | |
|-------|---|--------|---------------|
| PA047 | リバースカルチャーショックの経時的変化
—大学生海外留学経験者に対する調査— | 北星学園大学 | 後藤靖宏 |
| PA048 | 総合旅行業務取扱管理者試験の英文に関する一考察 | 長岡大学 | ○伴 浩美
皆川 順 |

発達

- | | | | |
|-------|---|-------------------|----------------|
| PB001 | 幼児の感謝を促進する母親の養育行動 (1)
—子どもへの関わりに焦点を当てて— | 新潟県立大学
順天堂大学 | ○藤原健志
村上達也 |
| PB002 | 幼児の感謝を促進する母親の養育行動 (2)
—自身の行動に焦点を当てて— | 順天堂大学
新潟県立大学 | ○村上達也
藤原健志 |
| PB003 | 青年のための共生対話プログラム (Dialogue for
Adolescences: D4A) 開発のための予備的検討 | 関西学院大学 | 藤井恭子 |
| PB004 | 幼児の友人間の「ほめ」(5)
—観察法による「ほめ」の頻度の検討— | 藤女子大学 | 青木直子 |
| PB005 | 幼児期から小学校低学年の子どもの ICT の使用と
養育者の意識
—養育スタイルとの関連— | 小田原短期大学
東京女子大学 | ○風間みどり
平林秀美 |
| PB006 | 道徳的価値判断の発達段階と学校における『遊び』
との関連の検討
—モラルジレンマ授業を通じた発達促進の試み— | 東京学芸大学大学院 | 武富敦史 |
| PB007 | 高校生における対人的な「傷つき」の探索
—「自分がした」という視点から傷つき体験を再検
討して— | 北海道大学大学院 | 鴨田祐汰 |

教授・学習・認知

- | | | | |
|-------|--|---------------------------------------|--------------------------------|
| PB008 | 食の流通に関するボード型ゲーム教材の開発 (1)
—乳を題材にしたニーズ調査とゲーム設計— | 弘前大学
新潟大学 | ○古村健太郎
澤邊 潤 |
| PB009 | 食の流通に関するボード型ゲーム教材の開発 (2)
—大学生、高校生を対象にした試行的実践— | 新潟大学
弘前大学 | ○澤邊 潤
古村健太郎 |
| PB010 | 小学生と大学生間におけるメンタリング活動は子ども
の学習にポジティブな影響を及ぼすかもしれない | 網走市教育委員会
東京農業大学
東京農業大学 | ○大垣正紀
後藤広太郎
西村一夫 |
| PB011 | 絵本の読み聞かせにおけるマイクロティーチングの
効果 (3)
—保育科学生と現職者を対象にした力量形成の比較
— | 埼玉純真短期大学
鎌倉女子大学
植草学園大学
国士館大学 | ○金子智栄子
金子智昭
金子功一
清水優菜 |
| PB012 | 小学校教員における生成 AI の教育活用についての
経験、賛否、期待と意欲
—文部科学省の暫定ガイドラインに基づく web 調
査による検討— | 京都大学
大阪大学
大阪商業大学
東京工業大学 | ○楠見 孝
齊藤貴浩
西川一二
栗山直子 |
| PB013 | 大学所属変更と学生の成績他の変化の様相
—与えられた先入見などが成績他にどう影響する
か— | 長岡大学 | ○皆川 順
伴 浩美 |
| PB014 | 大学生の散文理解における心の理論の下位技能
—誤信念理解に対する後知恵効果 (1) — | | 光田基郎 |

PB015	探究的な国語の授業を創り実践した大学院生の意識の変化 —生成 AI を活用した中学校国語科の探究的な授業の実践—	千葉大学 千葉大学	○小山義徳 安部朋世	#
PB016	外国語学習と創造的活動 —隠された反復を持続させる—	学習院高等科	山本昭夫	
PB017	英文要約化における重要語・マクロ構造選抜特性	大同大学 名古屋工業大学	○浅井 淳 石川有香	#
PB018	全学教職課程履修学生の教職課程イメージに関する研究 (3) —卒業後の進路希望と実習前後のイメージ変容との関係—	岡山大学	三島知剛	
PB019	保育者養成における対人コミュニケーションへの気付きを促す授業の試み	豊田工業大学	池田琴恵	
PB020	UDL を導入した授業における学生の学習行動と認識について —HyFlex 型授業および生成 AI に着目して—	福岡工業大学短期大学部 福岡工業大学短期大学部	○藤井厚紀 石田琢朗	#
PB021	授業での協同的な交流における大学生の取り組み	文教大学 早稲田大学	○山本琢俣 川杉桂太	#
PB022	児童・生徒の地理・歴史リテラシーを育成する授業のプロセスと効果に関する研究 —中学校歴史的分野「第一次世界大戦」を題材として—	東京大学大学院 三川町立三川中学校 東京大学	○青柳尚朗 小池勇也 藤村宣之	#
PB023	高等学校理科授業における質問づくりの効果の検証 —主体的・対話的で深い学びを目指した授業実践—	神奈川県立生田高等学校	志村拓弥	
PB024	ポジティブな調理実習体験と性格特性との関連	東京福祉大学	石橋和子	

社会

PB025	コロナ禍の大学1年生にとって有益な大学の友人と教職員のサポート	広島文化学園大学	堀井順平	
PB026	大学生の話し合い活動と学業に関連したスキルにかかる行動意図との関連性	大阪産業大学 福岡教育大学 九州大学	○西口利文 植村善太郎 伊藤崇達	
PB027	ソーシャルスキルと話し合い活動への態度との関連	福岡教育大学 大阪産業大学 九州大学	○植村善太郎 西口利文 伊藤崇達	
PB028	中学受験期に起きるエデュケーショナル・マルトリートメント —学習塾が果たせる役割の検討 (父・母・学習塾の関わり編) —	日本女子大学	浅見里咲	
PB029	親の学歴は学力への遺伝の影響を調整する —高校生の学力における遺伝×社会階層交互作用—	慶應義塾大学	安藤寿康	

人格

- PB030 大学のオンライン授業における Big Five とコメントシートの内容との関連
早稲田大学大学院 〇Deng Sixin #
早稲田大学大学院 薛 駿毅
早稲田大学 小塩真司
- PB031 社交不安及び ASD 傾向における曖昧な表情に対する感情評定
—感情の二次元評定を用いて—
聖徳大学 佐伯素子

臨床

- PB032 いじめ予防を志向したアサーション活動を取り入れた小学校学級活動案に対する教職課程学生の効力感と教職不安との関連性
和歌山信愛大学 村上凡子
- PB033 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が児童生徒に与えた心的影響
—2023年9月までの要支援者率の推移と震災トラウマの影響—
岩手大学 〇山本 奨
立命館大学 大谷哲弘

特別支援

- PB034 医療的ケア児と家族介護者のニーズに関する文献レビュー
東京医療保健大学 〇新山真奈美 #
福井大学 夏梅るい子
- PB035 ASD を伴う軽度知的障害児に対する「こころえほん」アプリを用いた役割取得能力トレーニングの実践（2）
—小学5年生を対象に—
新潟青陵大学 本間優子

学校心理学

- PB036 小学校高学年児童における不登校傾向と感情スキル、教師不信感・信頼感、登校動機づけとの関連
埼玉学園大学大学院 〇山田綾夏
埼玉学園大学 藤枝静暁
- PB037 教師志望学生の教師効力感（1）
—大学でのコロナ禍を経験した学生に関する検討—
秀明大学 〇関塚麻由
秀明大学 荒井明子
仙台白百合女子大学 岡 敬一郎 #
- PB038 教師志望学生の教師効力感（2）
—学校現場実習に対する不安・期待と自己肯定意識との関連からの検討—
秀明大学 〇荒井明子
秀明大学 関塚麻由
仙台白百合女子大学 岡 敬一郎 #
- PB039 スクールカウンセラーへの面接調査にみる不登校への間接的支援
学習院大学 〇伊藤亜矢子
佐賀大学 下田芳幸
- PB040 GIGA スクール時代における小学校教員の宿題の実態調査
宮城教育大学 平 真木夫

PB041	中学生における自己の強みの認識と学級集団内地位、学級適応感との関連 —学級風土の違いに着目した検討—	愛知教育大学 株式会社オリエンタルランド	○石田靖彦 板倉有希	#
PB042	高校公民科「公共」における青年期授業のあり方についての検討 —授業の振り返り分析から—	大阪府立四條畷高等学校	堀江竜也	
PB043	レジリエントな学級づくりに関する研究 (3) —小学生用学級レジリエンス尺度の作成および信頼性・妥当性の検討—	広島国際大学 中京大学 鳥取大学 産業医科大学	○松木太郎 加納裕久 太田真貴 榎原 毅	# # #
PB044	SNS 使用に起因するいじめの抑止を目的としたアサーション・スキルの学習プログラム開発 —いじめ否定の規範意識に着目したプログラム効果の検討—	帝京平成大学 法政大学 早稲田大学	○中村玲子 渡辺弥生 越川房子	#
PB045	児童の協同学習に対する肯定的認識と友人サポートの関連	兵庫教育大学	真田穰人	
PB046	学級目標を基盤とした自己調整サイクルによる学級づくりが学級の目標構造に与える影響	横浜国立大学	藤原寿幸	
PB047	施設分離型小中一貫校における児童生徒の社会性の課題に関する検討 —アセスメントを用いた学校課題の明確化—	岐阜大学大学院 岐阜大学	○花房 茂 吉澤寛之	
PB048	中学校におけるスクールエンゲージメントの縦断的变化	兵庫教育大学	藤原和政	

測定・評価・研究法

PB049	誤答選択枝カスケード分析における選択パターン解釈の容易性と項目識別力の関連 —図の視覚的特徴を統計量に反映させた探索的検討—	大学入試センター	寺尾尚大	
PB050	混合研究法における概念検討に現象学的方法を適用する (2)	東京工芸大学	小沢一仁	

発達

- | | | | |
|-------|--|---------------------------------------|-------------------------------|
| PC001 | 教職課程大学生のアイデンティティ発達と教職志望動機
—4年間の縦断調査の分析— | 奈良教育大学
奈良教育大学 | ○石井 僚
中山留美子 |
| PC002 | 教職課程大学生の教師効力感発達とアイデンティティ探索の関連 | 奈良教育大学
奈良教育大学 | ○中山留美子
石井 僚 |
| PC003 | 幼児期の仲間間のポジティブ感情としての「かわいい」への言及
—一言及状況とその関係調整的役割— | 千葉大学 | 岩田美保 |
| PC004 | 幼児のオンラインコミュニケーションの特徴 (3) | 十文字学園女子大学
十文字学園女子大学 | ○石田有理
大宮明子 |
| PC005 | 中学生における友人への向社会的行動生起モデル
—3時点データでの検討— | 関西福祉科学大学
岐阜大学
北海道大学大学院
北海道大学 | ○山村麻子
松本拓真
鈴木修斗
大谷和大 |
| PC006 | アスリーートの認知的方略タイプによるコーピングの違い | 早稲田大学大学院
早稲田大学 | ○牧野絢子
河村茂雄 |
| PC007 | 幼保小の接続期における「子どもの援助要請行動」に対する保育者の対応 | 東京 YMCA | 吉田健人 |

教授・学習・認知

- | | | | |
|-------|--|----------------------------|-----------------------|
| PC008 | 現職教員と教員志望学生の教えることに関する信念の検討 (4)
—教員志望学生の学年による違いの検討— | 阪南大学
関西福祉科学大学
奈良教育大学 | ○崎濱秀行
林 龍平
藤田 正 |
| PC009 | 現職教員と教員志望学生の教えることに関する信念の検討 (5)
—教員志望学生の教職志望度合いによる違いの検討— | 関西福祉科学大学
奈良教育大学
阪南大学 | ○林 龍平
藤田 正
崎濱秀行 |
| PC010 | 現職教員と教員志望学生の教えることに関する信念の検討 (6)
—現職教員の勤務校種による違いの検討— | 奈良教育大学
阪南大学
関西福祉科学大学 | ○藤田 正
崎濱秀行
林 龍平 |
| PC011 | 意図記憶における自己選択効果と情動制御能力の個人差 | 追手門学院大学 | 豊田弘司 |
| PC012 | 児童期の教師や友人との良好な関わりと大学生の自己肯定感の関係
—信頼感に着目して— | 岡山大学
岡山市立吉備小学校 | ○青木多寿子
河原千尋 # |
| PC013 | 繰り下がりが無い一桁ひき算の減数の影響 | 北海学園大学 | 後藤 聡 |

PC014	予習の実施と授業内学習方略を促す学習プロセスシートの作成	学習院大学 コアネット教育総合研究所 コアネット教育総合研究所 芝中学高等学校	○篠ヶ谷圭太 福本雅俊 山本愛美 岡田憲治	# # # #
PC015	自動採点システムを用いた高校のプログラミング授業の効果	会津大学 会津大学 福島高校 福島高校	○蛭名正司 渡部有隆 柴田和聖 菊池啓一郎	# # # #
PC016	学校で学ぶ知識の機能に対する大学生の認識 —「知識機能観」尺度構成の試み—	東北大学 放送大学 東北大学	○佐藤誠子 進藤聡彦 工藤与志文	
PC017	生徒同士の対話に基づく性教育の学習環境デザイン —認知的負荷は恥ずかしさを低減させるのか—	国立館大学	郡司菜津美	
PC018	どんな物語ならちゃんと読む？ —ウェブ調査における読み時間と物語文章の特性の関連—	法政大学 法政大学 淑徳大学 大正大学 日本大学	○菊池理紗 福田由紀 常深浩平 井関龍太 望月正哉	# # # #
PC019	学習支援プログラムに継続参加する中学生の長期的変化 —学習への意識と自尊感情・自己有用感に注目して—	北海道大学大学院 北海道大学大学院 北海道大学大学院 北翔大学 北海道大学	○高橋陸斗 三井小波 内山 昂 飯田昭人 加藤弘通	# # # #
PC020	算数授業における児童の関数に関する概念的理解の深化プロセス —他事象想起課題に対する記述の質的分析—	東京大学大学院	吉田知世	
PC021	直前の認知課題に関するメタ認知が再認テストを歪める	杏林大学	三浦大志	
PC022	被教育者から教育者への視点の転換 —サービス・ラーニングによる学生の学びと成熟のプロセス—	亜細亜大学 帝京科学大学 帝京科学大学	○小湊真衣 大西圭介 前嶋深雪	# # #
PC023	知能観は学習方略の使用に影響するか？ —中高生における数学の学習に焦点を当てた検討—	東京大学大学院 奈良女子大学	○岡野晴穂 竹橋洋毅	
PC024	勉強の面白さを教えることが児童の学習意欲に与える効果 —「子どもの生活と学びに関する親子調査」のデータをを用いた縦断的研究—	岡山大学大学院 岡山大学大学院 岡山大学大学院 岡山大学	○大鷹幹樹 長谷川颯大 渡邊友萌 岡崎善弘	# # # #
PC025	英語学習方略の使用に有効性の認知と時間コストが与える効果の検討	東京学芸大学大学院 横浜国立大学	○橋本真一 鈴木雅之	

社会

PC026	保育士を辞めたいと思う理由と継続の条件	椋山女学園大学 広島文化学園大学	○石橋尚子 山崎 晃	
PC027	仕事価値観尺度の作成と信頼性、妥当性の検証	労働政策研究・研修機構 労働政策研究・研修機構	○室山晴美 秋山史子	

PC028	教員養成学部生の職業選択動機にみる利他と利己	滋賀大学	若松養亮
PC029	東アジアの小学校教科書に描かれた子どもの遊びにみるジェンダーバイアス —日本・中国・韓国・台湾の次世代に期待されたジェンダー意識—	同志社女子大学	塘 利枝子
PC030	高校生における教師に対する信頼感とその規定因	下関市立大学	谷口弘一

人格

PC031	短期大学生の就業不安およびパーソナリティ特性との関連について	鳥取看護大学 鳥取短期大学	○河村壮一郎 池谷千恵 #
PC032	教師の Grit と自意識及び失敗観の関連	木更津市立鎌足小学校	山本裕貴

臨床

PC033	中学生インターネットヘビーユーザーの心身の健康 —コンテンツ（動画、SNS、ゲーム）別の検討—	山梨大学 山梨県甲府市立山城小学校 山梨大学教育学部附属幼稚園	○若本純子 望月志保美 # 望月なぎ沙 #
PC034	小中学生の無気力感および関連要因 —発達段階・性別を踏まえた検討—	大阪教育大学	牧 郁子

特別支援

PC035	大学生の注意欠如・多動傾向と就業不安との関連	お茶の水女子大学 お茶の水女子大学	○齊藤 彩 佐藤みのり
-------	------------------------	----------------------	----------------

学校心理学

PC036	模写についての評価と学業成績との関連性 —簡単な図形の組み合わせを模写した結果は何を予見するか—	金沢学院短期大学	鈴木賢男
PC037	いじめ場面での仲裁と傍観（2） —モラルディストレスと教師の呼応性の影響について—	広島修道大学	西野泰代
PC038	小学校教師における同僚教師との教育観のズレと職場風土に関する認知との関連	金沢星稜大学 早稲田大学	○森永秀典 河村茂雄
PC039	中学生に対するポジティブな心理的介入における心の状態への影響の検証	大阪大学大学院 金沢大学	○福島直美 荒木友希子
PC040	小学生時期のいじめ被害経験が大学生の自尊感情に与える影響と緩和要因の検討 —高校生時期の教師からの被サポート経験の調整効果に着目して—	信州大学 こころとそだち研究会 中村学園大学 新潟こども医療専門学校	○横嶋敬行 賀屋育子 野口太輔 小野 拳 #

PC041	レクリエーション活動を通じた保育学生のパーソナリティ変化 —星と波テストを用いた実践—	東京立正短期大学	倉持こころ
PC042	社会情緒的コンピテンスの伸長が児童の学校適応の促進に及ぼす影響 —児童の主体性と自尊感情の影響の媒介モデルによる検討—	岐阜県瑞浪市立稲津小学校 岐阜大学	○奥村尚浩 吉澤寛之
PC043	教職への満足度と学校現場での各業務改善の取組状況 —「小中学校教員の働き方実態調査2023」に基づいた結果報告—	ベネッセ教育総合研究所	北條大樹
PC044	ソーシャルスキルが低い児童への ICT 利活用による効果の検討 —学級満足感・友人意欲の影響について—	共立女子大学 帝京平成大学	○井口武俊 齊藤 勝
PC045	通信制高校に通う生徒を対象とした社会性と情動の学習プログラム (SEL-8Career) とベップトークの実践的研究 —生徒 A の事例検討を通して—	福岡教育大学大学院 福岡教育大学	○日下典子 山田洋平
PC046	子ども時代の身近な暴力 (いじめの芽からいじめまで) に、「声をあげる」ことができた文脈的要因の検討 —大学生へのライフストーリー・インタビューの協働的分析から—	千葉県柏児童相談所 筑波大学	○小林麗子 飯田順子
PC047	小中学校教員の評価懸念とバーンアウトに関する調査研究 —教師への期待感と保護者対応への不安に着目して—	埼玉学園大学大学院 埼玉学園大学	○谷地竜二 藤枝静暁

測定・評価・研究法

PC048	高学力層の大学進学機会に対する少子化による地域間格差拡大の実相 —東北大学の事例から—	東北大学	倉元直樹
PC049	重回帰分析において説明変数の測定誤差が第二種の過誤へと及ぼす影響	愛知学院大学	小野島昂洋

発達

- | | | | | |
|-------|---|--------------------------------------|-------------------------------|--------|
| PD001 | 現代のコロナ環境下における乳幼児の母親を対象とした虐待リスク予測因子の解明 (1)
—育児感情, 精神的健康, 相談行動, 相談資源に注目して— | 埼玉学園大学
埼玉学園大学
東京家政大学
埼玉県立大学 | ○藤枝静暁
増南太志
堀 科
森田満理子 | #
|
| PD002 | 現代のコロナ環境下における乳幼児の母親を対象とした虐待リスク予測因子の解明 (2)
—子育てに関する相談内容と利用しやすい相談方法— | 埼玉学園大学
埼玉学園大学
埼玉県立大学
東京家政大学 | ○増南太志
藤枝静暁
森田満理子
堀 科 | #
|
| PD003 | スポーツ体験の心理発達に関する効果についての考察
—スポーツチャンバラの体験会, 及び, クラブ活動の授業における感想に見られる心理的影響から— | | 荒木正昭 | |
| PD004 | 母子家庭における青年の離婚の受け止めが親子間コミュニケーションを介して心理的離乳に及ぼす影響 | 和光大学 | ○高坂康雅
沼井美滯 | # |
| PD005 | 中学生の社会的情報処理過程におけるネガティブ感情の測定の試み | 山形大学 | 関口雄一 | |
| PD006 | 養護教諭が定年退職を通して働くことを問い直す過程
—複線経路等至性アプローチ (TEA) を用いて— | 筑波大学大学院
筑波大学 | ○江原美登里
飯田順子 | |
| PD007 | 中国と日本の中高年期における罪悪感喚起状況について | 宇都宮大学大学院
宇都宮大学
宇都宮大学 | ○斉 昊博
石川隆行
石川由美子 | |

教授・学習・認知

- | | | | | |
|-------|---|--------------------|----------------|--|
| PD008 | 説明的文章の読解における「想念の侵入」を触発する要因について | 札幌学院大学
東北大学 | ○舛田弘子
工藤与志文 | |
| PD009 | 高1への適性形成型支援による構造方略の使用向上は説明文理解と学業成績を促すか (1)
—構造方略の持続使用に及ぼす効果— | 立命館大学
京都府立医科大学 | ○山本博樹
村上嵩至 | |
| PD010 | 基本的心理欲求理論に基づく授業評価尺度の予備的開発 | 早稲田大学 | 向後千春 | |
| PD011 | 生成 AI は短期集中的な使用体験に基づきどのような対象として理解されるのか
—ChatGPT 使用体験の追想的言語報告についての検討— | 上田女子短期大学 | 多田幸子 | |
| PD012 | 小学校低学年における探究学習支援の試み
—課題設定のプロセスに着目して— | 名古屋大学 | 田中瑛津子 | |
| PD013 | 大学生における授業外学習の動機づけと心理的欲求の充足との個人内関連 | 京都外国語大学
京都外国語大学 | ○梅本貴豊
稲垣 勉 | |

PD014	学業における自己価値の随伴性と動機づけ調整方略が学業的満足遅延に及ぼす影響	植草学園大学	金子功一
PD015	道徳教科化が授業の実施に与えた影響 —道徳教育推進教師へのインタビュー調査から—	武蔵大学	新原将義
PD016	日本語版フィードバックリテラシー行動尺度の開発の試み	ベネッセ教育総合研究所 ベネッセ教育総合研究所 東京大学 ベネッセ教育総合研究所 京都大学	○渡邊智也 野澤雄樹 瀬崎颯斗 小野塚若菜 楠見 孝 # #
PD017	授業の遂行場面における教師の専門的力量的理論的検討 —影響過程に着目したモデルの提案—	慶應義塾大学大学院	相良雄一郎
PD018	学習成果のフィードバックによる意欲向上とその変化 —小学生に対するマイクロステップ・スタディを用いた実践—	兵庫教育大学大学院・日本学術振興会 日本赤十字広島看護大学 鳴門教育大学 岡山大学 岡山大学 岡山大学 岡山大学 岡山大学	○山本康裕 益岡都萌 田中義人 山際あゆみ 田邊彰洋 津田慎吾 山上 保 寺澤孝文 # # # # #
PD019	児童は何を考えながら文字を書いているのか？ —目標、方略に着目して—	東京学芸大学大学院	川原名見
PD020	協働学習認識尺度の作成	東京大学 山梨大学	○一柳智紀 小野田亮介
PD021	教職志望学生の実践報告の活用に向けた探索的分析 —「言葉と数の教室」における実践報告に着目して—	高知大学 大学入試センター	○野中陽一郎 内田照久
PD022	社会科教科書の統計グラフを学習者はどのように読んでいるか	東京学芸大学大学院 東京学芸大学	○櫻木陽向 犬塚美輪

社会

PD023	援助者の探求過程 (6) —援助者の情緒的巻き込まれによる対人ストレスコーピングについて—	奈良大学 家族社会心理学研究所	○太田 仁 稲垣日奈子 #
PD024	他者志向的な達成動機づけと親からの期待 —日本・中国・アメリカの比較—	学習院大学	伊藤忠弘
PD025	小学校教師の児童認知次元と自己認知次元が指導行動に及ぼす効果	愛知教育大学 高浜市立高取小学校	○弓削洋子 松本明華 #
PD026	中学生・高校生のスマートフォン利用アプリに関する報告	中部大学	三島浩路
PD027	ガスライティング研究の基礎資料として (1)	九州医療科学大学	藤原幸子

人格

- PD028 大学生の心理についての研究
—コロナ禍における美意識の変化— 聖泉大学 李 艶
- PD029 社会的問題解決が反すうに及ぼす影響に対する注意
制御の調整効果について 早稲田大学 石川 遙至

臨床

- PD030 遠隔初回面接における心理師の印象は治療同盟と関
連するか? 上越教育大学 松下 健
- PD031 教師の心理的危機経験と精神状態や教師アイデン
ティティに関する研究 神奈川大学 ○高橋 誠
—危機に直面している教員と他の状態の教員との比
較— 兵庫教育大学 森本哲介

特別支援

- PD032 保育者の神経発達症および場面緘黙の認識 (3)
—保育者の対応に関する検討— 東京家政大学 ○水野裕子
筑波大学 水野雅之
- PD033 聴覚支援学校が担うセンター的機能の実態について
—担当教員数ならびに支援園・支援校数から— 東北福祉大学 ○茂木成友
福岡教育大学 喜屋武 陸

学校心理学

- PD034 「教員問いじめ」の目撃頻度と道徳的不活性化の関
連 奈良教育大学 出口拓彦
—個人および学校単位の分析による検証—
- PD035 学校現場での教員の学びに大学教員がどのように関
われるのか? 琉球大学 道田泰司
- PD036 学校給食の時間におけるやり取り形式の校内放送が
児童の共食意識と食育意識に与える影響 東京学芸大学 ○梶井芳明
さいたま市立大砂土小学校 藤巻琴美 #
- PD037 小学5年生から中学2年生におけるレジリエンスス
キルの縦断的変化の検討 静岡大学 ○小林朋子
兵庫教育大学 藤原和政
愛知教育大学 五十嵐哲也
- PD038 聴くスキルの向上を目指すルーブリックを活用した
SEL の実践 東京情報大学 ○原田恵理子
法政大学 渡辺弥生
- PD039 COVID-19流行による高校生のマスク着用目的の変
化 浜松医科大学 ○坪見利香
—自尊感情と SNS 利用との関連— 元浜松医科大学 飯塚日菜子 #
元浜松医科大学 大林 命 #
元浜松医科大学 小杉果歩 #
元浜松医科大学 中山絵莉乃 #
筑波大学 水野雅之

PD040	学級経営における自治的集団形成に関する一考察	埼玉県公立小学校	石井雄大
PD041	不登校生徒の心身状態の実態と欠席状況との関連 —シャボテンログ健康観察 WEB アプリを通じて—	北海道大学大学院 スタンドバイ株式会社 北海道大学	○舒 悦 谷山大三郎 # 加藤弘通
PD042	学校風土の多面的評価 —児童生徒と教師の認識, その他の教師要因との関連性—	大阪大学大学院 公益社団法人子どもの発達科学研究所 公益社団法人子どもの発達科学研究所 公益社団法人子どもの発達科学研究所 浜松医科大学	○平田郁絵 大須賀優子 和久田 学 津久井伸明 西村倫子
PD043	担任教師のいじめ対策への意欲がいじめ仲裁者の担任教師への信頼感に及ぼす影響	東京大学大学院	江見桐子
PD044	コミュニティ・スクールを活用した児童の非認知能力の育成 —学校・家庭・地域が一体となった学校経営を通して—	岐阜市立厚見小学校 岐阜大学	○大野晋一朗 吉澤寛之
PD045	中学生の日常における会話内容研究 —中学生が自分の考えや感情を表現できる質問紙の作成を通して—	浜松医科大学附属病院	山口三依子

測定・評価・研究法

PD046	不道德な質問項目への正直申告は期待できるか —ボイ捨て抑制効果研究におけるリッカート法と一対比較法の比較—	北海道教育大学函館校	林 美都子
PD047	子どもが安心して学ぶための保護者のサポート尺度開発に関する研究	東北大学大学院	古賀輝実

発達

- | | | | |
|-------|--|---|--------------------------------|
| PE001 | 学生の自傷行為、「消えたい」体験、希死念慮とその関連要因についての予備的調査
—死生観、幸福感、死別経験との関連— | 拓殖大学北海道短期大学
大阪公立大学
愛知学泉大学
石狩市ひきこもりサポートセンター | ○穴水ゆかり
大野志保
永津利衣
續橋淳子 |
| PE002 | 看護師・保育者・教員養成課程の学生にみられる死生観と幸福感
—「死の準備教育」プログラム作成に向けた予備的調査— | 愛知学泉大学
大阪公立大学
石狩市ひきこもりサポートセンター
拓殖大学北海道短期大学 | ○永津利衣
大野志保
續橋淳子
穴水ゆかり |
| PE003 | 情動反応性・情動制御性にかかる3つの気質
—コロナ禍における社会情緒面での問題行動・パーソナリティ形成に与える影響— | 中京大学 | 水野里恵 |
| PE004 | 友人関係における状況に応じた切替の4類型と多様性志向および孤独感類型 (LSO) の関連
—不使用型を適応的とみなすのは果たして適切か?— | 兵庫教育大学大学院 | 大谷宗啓 |
| PE005 | 幼児期における人物画の「動きの表現」の発達に関する研究
—実行機能および自己理解との関連— | 北海学園大学 | 進藤将敏 |
| PE006 | 幼児期における習得動機づけと養育態度の関連 | 広島大学大学院
広島大学 | ○立石杏佳
杉村伸一郎 |
| PE007 | 多様な文化的言語的背景をもつ幼児における萌芽的リテラシー活動の違い
—園の絵本コーナーにおける吸音パーテーション有無の比較— | 洗足こども短期大学
浜松学院大学 | ○篠沢 薫
野口紗生 |

教授・学習・認知

- | | | | |
|-------|--|---------------------|-----------------|
| PE008 | 児童が「物語の大事なところを一文で表す」読解方略を獲得する過程の検討 (1)
—物語を表す一文に対する評価の推移から— | 静岡大学
静岡県三島市立北小学校 | ○町 岳
齋田裕子 |
| PE009 | 児童が「物語の大事なところを一文で表す」読解方略を獲得する過程の検討 (2)
—物語を表す一文を検討するグループ・学級の発話から— | 静岡県三島市立北小学校
静岡大学 | ○齋田裕子
町 岳 |
| PE010 | 認知カウンセリングの経験を通じた教員志望学生の教授行動の変容
—チュータリング実験を通じた検討— | 広島大学
松山市立窪田小学校 | ○深谷達史
中越拓海 # |
| PE011 | 小学校授業における教師および児童が遂行する対人配慮発話内行為
—相互行為のフレームに着目し、ポライトネス理論を参照にした教室談話分析— | 武蔵野大学 | 川島 哲 |

PE012	読み書きに対する就学前保護者の疑問や不安に関する調査 —一年長児の文字習得に着目して—	関西福祉科学大学	宮本直美	
PE013	やりとりによる知識獲得の促しにおける感情の影響 —各感情価に注目して—	盛岡大学	奈田哲也	
PE014	大学生における課題に対する自己効力感と授業の重要度が先延ばしに与える影響 —実際の授業の課題に着目して—	愛知学院大学	太幡直也	
PE015	課題価値と困難度の予期が学習行動に及ぼす影響	南山大学 南山大学 南山大学	○解良優基 浦上昌則 藤田知加子	
PE016	ボランティア継続動機と自己肯定意識との関連 —子ども食堂のボランティア活動を通して—	東北生活文化大学短期大学部 東北生活文化大学	○米川純子 伊藤常久	#
PE017	授業改善をするために授業評価をどう捉えて活用すればよいか	東京学芸大学大学院	藤森裕紀	
PE018	多様な知識が関連づけられた概念的理解を促進する 高校物理の授業に関する実証的研究 —協同過程における発問の効果に着目して—	市川学園市川中学校・高等学校	飯高匡展	
PE019	教員の総合的な学習の時間への苦手意識に関する一考察	早稲田大学大学院 早稲田大学	○富永香羊子 河村茂雄	
PE020	小学校教諭免許状の取得を目指す学生の数学科の公式の捉え方が算数科指導の効力感や不安に及ぼす影響	福山市立城東中学校 広島大学	○池田悠真 藤木大介	#
PE021	非定型問題解決による授業における方針提示の影響についての追加検討	東京大学大学院	稲村 建	
PE022	大学初年次生の説明文産出に対するチェックリストを用いた長期的支援は読み手意識を促進するか	立命館大学大学院 立命館大学 立命館大学	○足立萌々香 山本博樹 亀井隆幸	#
PE023	フレームリーディングと構成図を用いた授業が小学校高学年児童の文章構成理解に及ぼす影響	東京学芸大学大学院 東京学芸大学	○江原可奈子 梶井芳明	
PE024	大学生における踊りの教え合いが動作学習と運動有能感に及ぼす効果 —「なぜ」や「そもそも」といった意味や原理に関する説明の重要性—	立命館大学大学院 立命館大学 立命館大学大学院	○利岡実侑 山本博樹 亀井隆幸	#
PE025	幼児の数概念の理解を促進する Playful Learning の効果	早稲田大学大学院 慶應義塾大学	○古本果花 今井むつみ	

社会

PE026	体罰は「体」への「罰」ととどまらない —体罰論から暴力論へ—	山梨大学 山梨大学	○尾見康博 豊田 隼	#
PE027	北陸地域における市民のヘルプマークに関する認知度	富山大学	西館有沙	

PE028	自分の好きなことの発表が親和動機づけに及ぼす影響	北海道千歳リハビリテーション大学	和田義哉	会員 9/14
PE029	大学生のいじめ経験におけるサイコパシー傾向と成人愛着型の影響	札幌保健医療大学	安念保昌	会員 9/15
PE030	社会人の学び始めの動機づけが学習エンゲージメント・学習継続期間に与える影響	株式会社リクルートマネジメントソリューションズ 株式会社リクルートマネジメントソリューションズ 株式会社リクルートマネジメントソリューションズ	○川崎裕子 今城志保 山田 香	#

人格

PE031	保育学生の共感性と子ども観の関連	安田女子短期大学	中村 涼	PA 9/14
-------	------------------	----------	------	------------

臨床

PE032	3種類のセルフ・コンパッションの手紙の受容性の比較	筑波大学	水野雅之	PB 9/14
PE033	奨学金受給大学生における家族ケアの実情 —大学生ケアラーに着目して—	お茶の水女子大学 お茶の水女子大学	○佐藤みのり 齊藤 彩	PC 9/14

特別支援

PE034	発音不明瞭を主訴とする児童の発音明瞭度に関する研究 (2) —対象児との関わりの有無による評価の比較検討—	大阪教育大学	湯浅哲也	PD 9/15
PE035	病院内学級での学年や教育課程を超えた道徳科合同授業の実践研究 —中学生のワークシートの記述からの一考察—	公立特別支援学校	下村太郎	PE 9/15

学校心理学

PE036	チーム学校の実現に向けた4職種合同多職種連携教育プログラム試行について —学校領域協働コンピテンシーの学習効果—	就実短期大学 創価大学 沖繩大学 就実大学 大阪教育大学 就実大学	○荊木まき子 相樂直子 平野貴大 門原眞佐子 森田英嗣 石原みちる	#
PE037	更新講習を担当した大学教員による教員免許更新制のイメージ —PAC分析の結果を専門的助言に沿って読み解く—	室蘭工業大学	今野博信	PG 9/16
PE038	高校生の保護者、教員のうつ病に関するメンタルヘルスリテラシーの探索的検討 —認識、原因帰属、初期対応の意図に着目して—	山形大学	河合輝久	PH 9/16

PE039	能登半島地震の被災地での教員研修の意義についての検討 —参加者の研修後の所感から見えてくるもの—	金沢工業大学 日本電信電話株式会社 日本電信電話株式会社	○平 真由子 横山実紀 渡邊淳司	# #
PE040	児童の援助要請行動の抵抗感『評価への懸念』に焦点を当てた心理教育プログラムの提案とその効果の検証	岩手県 県北教育事務所 岩手大学	○菊地亜矢子 山本 奨	
PE041	ACT-Matrix を使った心理教育プログラムの参加者への影響の検討 —集団実施時と個別実施時の共通点と違いの一考察—	立命館大学大学院	小笹大道	
PE042	学級における教師の社会的目標意識が児童に与える影響	埼玉県児玉郡美里町立松久小学校	森 健司	
PE043	通常学級における神経発達症やその傾向をもつ児童のためのe-ラーニング・ティーチャートレーニング—無作為化比較フィジビリティスタディー—	大阪大学	石井篤子	
PE044	在日中国人児童の学校適応感に関するテキストマイニングによる分析	大阪大学大学院 金沢大学	○Li Shuming 荒木友希子	
PE045	不登校に対する支援の体系化 —学校不適応感を経験した事例をもとに—	岐阜県スクールカウンセラー	小寺聖子	
PE046	学習内容とソーシャルエモーショナルラーニングとの関連について (3) —小学校「保健」の教科書分析から—	静岡大学大学院 静岡大学 静岡大学大学院	○勝又慎之輔 小林朋子 小川良子	
PE047	アサーション・トレーニングを用いた自尊感情の育成における留意点の検討 —小学校単学級における一事例研究を通して—	杉並区立富士見丘小学校 東京学芸大学	○小宮山深生 梶井芳明	

測定・評価・研究法

PE048	紙テストによる能力測定の限界を超える問題開発への取り組み —Computer Based Testing による能力の新しい測定方法—	國學院大學	寺本貴啓	
PE049	大学入試志願者本人記載書類の作成における文章生成 AI 利用への印象 —高校教員への質問紙調査から—	東北大学大学院 東北大学	○加美山若奈 倉元直樹	

発達

- | | | | |
|-------|---|---|--------------------------------|
| PF001 | 子どもの攻撃性が親の能動的・反応的攻撃性並びに養育行動に及ぼす影響について | 筑波大学 | 濱口佳和 |
| PF002 | 幼児期の家庭生活と就学時の学習の基盤(数・言語)との関連
—5年間の「まなびスタート調査」から— | 京都ノートルダム女子大学
同志社女子大学
京都ノートルダム女子大学
京都ノートルダム女子大学 | ○高井直美
塘 利枝子
薦田未央
伊藤一美 |
| PF003 | 幼児期の母親の子育てに影響するのは何なのだろうか
—社会参加状況, 子どもの行動理解, 親の愛着不安に着目して— | 同朋大学 | 小沢日美子 |
| PF004 | 保育者における退職意思及び転職意思の予測因に関する縦断的検討 | 筑波大学
比治山大学 | ○松田侑子
濱田祥子 |
| PF005 | 友人に対する内的作業モデルが共感性に与える影響
—自閉症傾向高低群の比較から内的作業モデルの可能性を考える— | 東大阪大学 | 木下雅博 |
| PF006 | 友人関係における「他者への配慮のなさ」に対する不寛容の検討
—大学生の文化的自己観との関連から— | 関西学院大学大学院 | 服部 茜 |
| PF007 | 日本語版 ADHD Stigma Questionnaire (ASQ-J) の作成および妥当性・信頼性の検討 | 早稲田大学大学院
早稲田大学大学院
早稲田大学 | ○前田千晴
佐々木三紗
桂川泰典 |

教授・学習・認知

- | | | | |
|-------|---|---|--|
| PF008 | 乳幼児の保護者における就学前教育への期待とイメージ (1)
—モンテッソーリ教育の認知度に関する全国 Web 調査より— | 神戸学院大学
神戸学院大学
神戸学院大学 | ○清水寛之
村井佳比子
道城裕貴 |
| PF009 | 乳幼児の保護者における就学前教育への期待とイメージ (2)
—モンテッソーリ教育に関する内容説明の前後における意識変化— | 神戸学院大学
神戸学院大学
神戸学院大学 | ○道城裕貴
村井佳比子
清水寛之 |
| PF010 | 科学技術のリスクとベネフィットを踏まえた意思決定を目指す教育プログラム
—小学生のリスク認知に関する成果評価— | 神戸大学
神戸大学
兵庫教育大学
神戸大学附属小学校
神戸大学 | ○坂本美紀 #
山口悦司 #
山本智一 #
俣野源晃 #
村山留美子 # |
| PF011 | 40代群における記述対象双極性数値評定法による痛みのオノマトペの検討
—強い痛み, 弱い痛みを中心として— | 金城大学 | 奥田裕紀 |

PF012	情報リテラシー講義のグループワークにおける対話活動量とアサーションスキルに基づくグループ構成との関係	名古屋学芸大学 愛知県立大学	○内田君子 奥田隆史	#
PF013	学生によるオンラインおよび対面授業の選択と学習活動	青山学院大学	寺尾 敦	
PF014	命の大切さを学ぶ防災・減災教育プログラム開発と教育評価に関する研究 —生成 AI による自由記述データの分析—	宮城学院女子大学 宮城学院女子大学 宮城学院女子大学 宮城学院女子大学 宮城学院女子大学	○西浦和樹 伊藤哲章 守 涉 平川久美子 兪 キョン蘭	# # # #
PF015	理科の自由研究における課題設定と計画立案の支援 —レリバンスと理科の考え方に着目した実践—	大阪大学 大阪大学 大阪大学	○後藤崇志 高津 遥 西森年寿	# # #
PF016	小学校算数科「比を求める計算」での教科書への書き込み意図が書き込み及び説明活動に及ぼす影響についての検討	武蔵野大学 横浜市立別所小学校 東京学芸大学	○小野健太郎 田中真菜実 梶井芳明	# # #
PF017	大学院生活における感情の起伏の契機に関する調査	帝京大学 京都外国語大学 大阪大学	○森 玲奈 根岸千悠 村上正行	# # #
PF018	内発的動機づけと保育実践の関係 —自信と専門性向上の観点から—	宝塚医療大学 日本福祉大学	○成田亜希 大西 満	
PF019	退屈に対する信念尺度の作成と信頼性・妥当性の検討 —高校生を対象として—	長崎大学	湯 立	
PF020	英語コミュニケーションの不安軽減 —国際英語論の教育的導入—	東京学芸大学大学院	小林ゆみ	
PF021	小学校教員は大学生のインプロ・ゲーム実践をどのように捉えるか	横浜国立大学大学院 横浜国立大学	○疋田翔己 有元典文	
PF022	高校生の探究学習における持続可能な開発教育(ESD) —履修コースが批判的思考、探究・境遇活用スキルに及ぼす効果—	京都大学大学院 京都大学	○梶谷哲史 楠見 孝	
PF023	学級の学業的・社会的目標構造の認知と学業的援助要請との関連 —目標構造の類型に着目した検討—	名古屋大学大学院 愛知教育大学	○川本心羽 石田靖彦	
PF024	中学生におけるコスト認知が学習方略に及ぼす影響 —達成目標を媒介にして—	名古屋大学大学院 名古屋大学	○真鍋一生 中谷素之	
PF025	小学校教員によるユーモア表出に対する児童の認知と学級集団との関連	早稲田大学 早稲田大学	○河村昭博 河村茂雄	

社会

PF026	しつけ（教育）と虐待（体罰）の認知に関する検討	福井大学	岸 俊行	
-------	-------------------------	------	------	--

PF027	大学1年生のキャリア意識とライフコースの選択 —専門職志向に着目して—	金城学院大学 東京大学 東京女子大学 金城学院大学	○石津和子 高橋美保 森田慎一郎 鶴田美保子	#
PF028	少年鑑別所入所者の認知情動行動リスクと対人環境 が反社会的行動に及ぼす影響 —反社会的行動のタイプ別の自己報告に基づく検討—	岐阜大学 名古屋少年鑑別所 岐阜聖徳学園大学 久留米大学	○吉澤寛之 反中亜弓 吉田琢哉 浅野良輔	
PF029	部活動での経験や学びが、能力・態度を変容させる 可能性における一考察 —茶道部合宿でのワークショップを通して—	杉並学院高等学校 杉並学院高等学校	○原田昌子 小崎光展	#
PF030	3つのゲーム障害尺度の構造比較および精神健康指 標との関連	早稲田大学大学院 東京大学大学院 早稲田大学	○海野利文 加藤 剛 小塩真司	

人格

PF031	VR を用いた未来の自己との対話が長期目標の追求 に及ぼす効果	筑波大学	千島雄太	
-------	------------------------------------	------	------	--

臨床

PF032	発達障害児童に対する「音楽療法的アプローチ」の 効果 —音楽技能評価と子どもの行動チェックリスト (CBCL) の測定による検討—	環境とこころとからだの研究所 山形大学 アジェンダやまがた	○宮崎 昭 佐川 馨 児玉千賀子	# #
PF033	中学生における表情認知の変容がストレスマネジメ ント教育の効果に及ぼす影響	早稲田大学大学院 早稲田大学大学院 早稲田大学大学院 早稲田大学 早稲田大学	○長沼千夏 成田めぐみ 石川 律 西中宏史 嶋田洋徳	#

特別支援

PF034	小学生は授業ルールから逸脱している児童をどのよ うに捉えるのか —授業ルールの明示に着目して—	岐阜大学	古村真帆	
PF035	子どもの共同注意関係行動に対する保育士の認識研 究	多機能型児童発達支援事業所ディアーズ1st 聖徳大学 聖徳大学	○土屋文昭 鈴木由美 東原文子	

学校心理学

PF036	小学生の学校不適応がゲーム依存傾向に及ぼす影響	國學院大學	渡邊雅俊	
-------	-------------------------	-------	------	--

PF037	コロナ禍の授業形態が大学生の学校満足度と学校生活意欲に与える影響 (2) —コロナ禍の授業形態が大学生の大学生活満足度に与える影響—	摂南大学	牧野幸志
PF038	教職志望学生の理想的学級像とその関連要因について	大阪教育大学 大阪教育大学	○四辻伸吾 水野治久
PF039	強み介入が青年の自己の肯定的側面の評価に与える影響について	岡山大学	伊住継行
PF040	高1の学業ストレスを規定するのは学習適応か学業成績か？ (2) —「進路多様校」における「進学クラス」と「通常クラス」の違いに着目して—	立命館大学大学院 立命館大学	○王 語非 山本博樹
PF041	中学生における援助要請経験と利益・コストの関連—援助要請経験の認識の違いに着目して—	武庫川女子大学大学院 武庫川女子大学	○奥 穂波 玉木健弘
PF042	中学生の攻撃性と抑うつおよび学校不適応傾向との関連	武庫川女子大学	○笹谷愛望 玉木健弘
PF043	シェアリング方式スーパービジョンによる校内研修が初任者に及ぼす影響	早稲田大学大学院	高島英公子
PF044	小学校教員の心理的安全性に関する研究—心理的安全性が高い年, 低い年の語りの分析を通して—	東京学芸大学大学院	五十嵐健一
PF045	高校生の社会的自立に向けた自己理解とキャリアプランニング能力の育成 —相談相手を自ら選ぶキャリア・カウンセリングの効果検討—	福岡県立糸島高等学校 福岡教育大学	○三苦由美子 西山久子
PF046	感情制御の力を育む心理教育プログラム「いやな気持ちと一緒に」の開発と学習効果	静岡大学	○高柳 翼 町 岳
PF047	高学年児童を対象とした強みへの注目と強みの活用感および子どもが認識する父親・母親からの強みへの注目の関連の検討	株式会社水戸心理・療育センター 埼玉学園大学	○梶原真衣 藤枝静暁
PF048	中学生の友人同士の対立場面における介入行動意図と学校環境適応感の関連	東京学芸大学 兵庫教育大学	○松山康成 真田穰人

測定・評価・研究法

PF049	対面授業に Zoom を取り入れたコンピュータリテラシー教育におけるモチベーションの分析—モチベーションの向上を目指して—	東京電機大学 東京電機大学	○土肥紳一 今野紀子
PF050	中学生版多様性と困難への寛容度尺度の作成と信頼性・妥当性の予備的検討	福井大学 筑波大学 福井大学 福井大学 福井大学	○藤岡 徹 飯田順子 水野賀史 # 岩堀美雪 松崎秀夫 #

発達

PG001	保育における保護者支援が、保育の質・保育者のかかわり・保育の内容を介して、0・1・2歳児の社会・情動的能力に与える影響	元神戸松蔭女子学院大学	寺見陽子
PG002	幼少期の絵本経験と大学生の共感性との関連	大分県立芸術文化短期大学	藤田 文
PG003	小学校1年生の授業における時間的・空間的構造と幼児期からの学びの連続性	福井大学	岸野麻衣
PG004	親子関係向上のための「親子つながるシート」の効果 —親要因の検討—	静岡県立大学短期大学部 菊川市立六郷小学校 静岡県警察本部	○小林佐知子 増田直功 # 堀野良介 #
PG005	制御適合メッセージは幼児のパフォーマンスを高めるか?	新潟国際情報大学 慶應義塾大学	○佐々木宏之 林 洋一郎 #
PG006	思春期における家庭での教育の強制の経験と成人後の心理的 well-being の関連	上智大学 上智大学	○岡田紗苗 齋藤慈子
PG007	高校生の登校回避感情を基盤とした不登校傾向と精神的健康との関連	白百合女子大学大学院 順天堂大学 白百合女子大学	○寺岡良子 吉武尚美 # 菅原ますみ #
PG008	保育者養成校における授業プログラムについての一考察 —「幼保小連携・接続」に着目して—	松山東雲短期大学	小松和佳

教授・学習・認知

PG009	小学生を対象とした対話によるプログラミングへの利用価値介入 —動機づけ指標に着目して—	松本大学 信州大学 江戸川大学 長崎大学 筑波大学大学院 筑波大学	○海沼 亮 三和秀平 長峯聖人 湯 立 浅山 慧 外山美樹
PG010	小学生を対象とした対話によるプログラミングへの利用価値介入 —プログラミング課題の成果に着目して—	信州大学 松本大学 江戸川大学 長崎大学 筑波大学大学院 筑波大学	○三和秀平 海沼 亮 長峯聖人 湯 立 浅山 慧 外山美樹
PG011	小学校低学年を対象とする協同性を重視したプログラミング学習の方法を探る試み	聖徳大学 聖徳大学	○東原文子 田中真紀子
PG012	威光模倣による探究型授業実践の学習 —「畏敬の念」は探究型授業の模倣への態度と実践化を促すか—	大阪成蹊大学	羽野ゆつ子

PG013	教師による働きかけと児童生徒の学校適応に関する研究 (1) —積極的授業参加行動の因子構造の確認と学年差・性差の検討—	岐阜聖徳学園大学 岐阜聖徳学園大学	○安藤史高 後藤綾文	
PG014	教師の生徒指導力と教師アイデンティティ・教師効力感の関連	同志社大学 同志社大学 同志社大学 同志社大学	○田中希穂 山口洋介 大橋忠司 井上浩史	# #
PG015	教師の科目内容に対する内発的動機づけに着目した動機づけの社会的伝達プロセスの検討	国立教育政策研究所 名古屋大学	○寺尾香那子 中谷素之	
PG016	授業・復習の2場面における学習方略と数学の概念的理解との関連 —高校生の方略利用の実態と課題—	東京学芸大学	太田絵梨子	
PG017	失敗観が自己効力感の状況的变化に与える影響 —経験サンプリング法による検討—	京都教育大学	赤松大輔	
PG018	教職・保育職志望学生の表現の学びと自己肯定感、レジリエンスに関する一考察	愛知東邦大学	堀 篤実	
PG019	コミュニケーション・スキルの自己評価による群分けと各群の授業有用感および実践意欲 —アクティブラーニング型授業における双方向型オンラインと対面の比較検討—	群馬医療福祉大学	漆畑典子	
PG020	教職志望学生が ICT を活用した指導を体験することにより得る気付き —同期型遠隔授業のメリットとデメリットのテキストマイニングによる分析—	実践女子大学	宮脇 郁	
PG021	授業についていけない子どもの成長をどう促し、見取るか —メタ認知に着目した支援と評価方法の提案—	東京大学大学院 東京大学	○金森なつき 植阪友理	
PG022	体育授業・運動遊びのプログラム介入における児童の意識の変容	和泉市立芦部小学校 兵庫教育大学	○吉原久貴 秋光恵子	
PG023	学内の学生同士におけるメンタリング活動の効果検証 —サポートするメンターに視点をあてて—	東京農業大学 東京農業大学	○西村一夫 後藤広太郎	
PG024	小学生の英単語定着と学習方略使用の促進を目指した実践 —小学6年生への学習法講座の実施を通して—	広島大学大学院 広島大学	○成瀬陽奈子 深谷達史	
PG025	「深い理解」を促す授業に関するシステマティックレビュー —講義と問題解決の統合順序と設計特色に着目して—	東京大学大学院 東京大学	○高橋幸太郎 植阪友理	
PG026	自律的な学習が児童の自律的学習動機づけに及ぼす影響	鹿児島国際大学	住田裕子	

社会

- | | | | | |
|-------|---|-------------------------------------|-----------------------|---|
| PG027 | オンライン面接に対する意識を変容させる介入の試み
—オンデマンド動画を用いて— | 京都外国語大学
流通経済大学 | ○稲垣 勉
澤海崇文
澄川采加 | # |
| PG028 | 児童・青年期における攻撃と心理社会的不適応との関連
—多重メタ回帰分析を用いた調整効果の検討— | 関西大学 | 水谷聡秀 | |
| PG029 | 学校活動への保護者の関わりが地域に対する態度および地域活動に与える影響
—小学校における8か月間の3時点縦断データに基づく検討— | 岐阜聖徳学園大学
岐阜大学
久留米大学 | ○吉田琢哉
吉澤寛之
浅野良輔 | |
| PG030 | なぜ男児のランドセルの色が多様化しないのか | 神戸女学院大学
神戸女学院大学 | ○矢野円郁
和田夏果 | # |
| PG031 | 恋愛関係における知覚されたソーシャルサポートとセルフ・コンパッションの関連 | 合同会社ひといき
名古屋大学 | ○夏 勤修
中谷素之 | |
| PG032 | 大学のゼミ活動における学習意欲に教員・ゼミメンバーとの心理的距離とゼミ・研究室の雰囲気与える影響 | 東京学芸大学大学院
株式会社早稲田学習研究会
東京学芸大学 | ○河口陽菜
森泉遥樹
品田瑞穂 | # |

人格

- | | | | | |
|-------|--|---------------|---------------|--|
| PG033 | 特性ノスタルジアとアイデンティティ形成との関連
—短期縦断調査による検討— | 江戸川大学
筑波大学 | ○長峯聖人
外山美樹 | |
|-------|--|---------------|---------------|--|

臨床

- | | | | | |
|-------|-------------------------------------|-----------------------------------|------------------------|--|
| PG034 | ネガティブ感情の分化と知覚されたストレスが現在の生活満足度に及ぼす影響 | 京都大学大学院
京都大学 | ○岡村百香
高橋雄介 | |
| PG035 | 小学生におけるウェルビーイングと共同体感覚の関連 | 上越教育大学大学院
豊橋市立富士見小学校
上越教育大学 | ○目黒幸士郎
水流卓哉
赤坂真二 | |

特別支援

- | | | | | |
|-------|---|-------------------------|-----------------------|--|
| PG036 | 特別支援学校における部主事のリーダーシップと教員のレディネスが職場適応に及ぼす影響 | 岐阜大学大学院
岐阜大学
岐阜大学 | ○伊藤 徹
吉澤寛之
益子典文 | |
| PG037 | 中学校通常学級担任の合理的配慮の提供における意識の変容プロセス | 松戸市立小金北中学校
筑波大学大学院 | ○吉川祐子
宮川拓人 | |

学校心理学

PG038	大学生対象の自殺予防教育の実践と評価 —テキストマイニングによる授業後課題の分析—	福井工業大学	荒木史代
PG039	教員による児童・生徒の行動面に関するアセスメントと登校状況との関連 —忘れ物・提出物等の自己管理観点からの検討—	愛知教育大学大学院 愛知教育大学 京都大学	○飯沼あゆみ 鈴木美樹江 高橋雄介
PG040	中学生における各学期の通知表評定と1年間を通じた登校状況との関連	愛知教育大学大学院 愛知教育大学 京都大学	○奥田菜央 鈴木美樹江 高橋雄介
PG041	就学時健診における知的発達スクリーニング検査の結果と登校状況との関連	愛知教育大学大学院 愛知教育大学 京都大学	○竹峰泰成 鈴木美樹江 高橋雄介
PG042	小学生・中学生の学校歯科健診結果と登校状況との関連	愛知教育大学大学院 愛知教育大学 京都大学	○中山桜希 鈴木美樹江 高橋雄介
PG043	親和学級2タイプの比較検討 (2) —教育的相互作用の比較—	神奈川県立保健福祉大学 早稲田大学	○深沢和彦 河村茂雄
PG044	達成行動の志向性と他者の関係 —自由記述からの検討—	学習院大学大学院	今井 真
PG045	学習支援活動に参加した大学生のスキル・信念の変化	東京学芸大学大学院 東京学芸大学	○伊藤慶彦 犬塚美輪
PG046	アサーション授業の実施による児童の自己表現法の効果検証	金沢大学・日本学術振興会 金沢大学 大阪大学大学院	○塩田友果 辻 知陽 # 福島直美
PG047	メタファを活用したインクルーシブ教育導入教材の有用性 —自然生態系をソースとするメタファを用いた心理教育—	慶應義塾大学 NEXT WAVE 信州大学	○小泉二郎 小泉允志 # 加藤彩乃 #
PG048	公立小中学校50代教諭と60代教諭のワーク・エンゲイジメントの比較検討 —「やりがい」と「ストレス」に注目して—	早稲田大学大学院 早稲田大学	○生貝博子 河村茂雄
PG049	教員養成課程における「不登校のサインに気づく」ための授業とその効果	愛知教育大学 信州大学 千葉大学	○五十嵐哲也 茅野理恵 # 藤川大祐

測定・評価・研究法

PG050	エージェンシー尺度の開発	福井大学 東京大学	○木村 優 一柳智紀
PG051	性格検査の項目見直し手法の探索的研究 —経年変化に着目した項目パラメータドリフト検出の試み—	株式会社リクルートマネジメントソリューションズ 株式会社リクルートマネジメントソリューションズ	○伊藤有梨花 坂本佑太郎

発達

PH001	幼児期の食と睡眠に関する心理学的研究	中村学園大学	田中るみこ	
PH002	親になる「条件」として想起される記述の分類	立教大学	扇原貴志	
PH003	音声を通した多様な感情理解の発達	法政大学大学院 法政大学 目白大学 お茶の水女子大学	○澤田葉月 渡辺弥生 佐藤壮平 大森美香	# #
PH004	「ちくちく言葉」と「ふわふわ言葉」の現在地 —実践研究レビューして—	新潟こども保育カレッジ	板垣 寛	

教授・学習・認知

PH005	メタ創造性と創造性の関連 —創造性を高める方略とは?—	筑波大学	外山美樹	
PH006	対人関係ゲームにおける「保育学生の気づき」の分析	聖徳大学	鈴木由美	
PH007	オンライン学習過程における自己効力感とエンゲージメントの関連 —異なる教授ストラテジーによる関連の違い—	三重大学 京都外国語大学	○中西良文 梅本貴豊	
PH008	小学校英語における物語を題材とした活動の指導効果について —獲得した英語スキルとエンゲージメント—	青山学院大学	アレン玉井光江	
PH009	日本語学習者のメタ認知を高めるための心理学教育	北海道大学	小林由子	
PH010	学習場面の批判的思考態度とスマホ依存傾向、協働学習の認識、一般的批判的思考態度との関連 —高校生への調査から—	東京大学教育学部附属中等教育学校	石橋太加志	
PH011	日中大学生によるオンラインコミュニケーションツールを活用した対話の試み —大学授業を結ぶ対話的異文化交流授業の開発—	東京学芸大学 中国政法大学 一般財団法人 発達支援研究所	○榊原知美 片 成男 渡辺忠温	#
PH012	予防焦点の高い個人が失敗経験後にパフォーマンスを向上させるには —課題遂行過程のポジティブ・ネガティブフィードバックの影響—	名城大学 稲垣設備工事株式会社	○原田知佳 新美友唯	#
PH013	高校生の情報活用能力の育成を目指したデータサイエンス講座の実践報告 —総合的な探究の時間を用いて—	富山大学 富山大学 富山大学 富山県立砺波高等学校 富山県立砺波高等学校	○小澤郁美 春木孝之 林 誠一 野村伸一 西川泰良	# # # #
PH014	教師による自律性支援とソーシャルスキルに対する自律的な動機づけとの関連の検討	山口学芸大学 早稲田大学	○森 俊博 河村茂雄	

PH015	学びの本質としての「読解力」 —RST と非認知能力との関連から—	神奈川工科大学 神奈川工科大学	○佐藤史緒 山本 聡	#
PH016	高校生における学業的援助授与・要請と学習方略との 関連性について	三重県立津東高等学校 名古屋大学	○吉田卓司 中谷素之	
PH017	学生サポートルームの説明文構成が読解意欲と理解 度ならびに援助要請に及ぼす影響 (2) —テキスト外構成によって変化する援助要請に至る までの影響過程の検証—	立命館大学大学院 立命館大学 立命館大学 立命館大学大学院	○原 千尋 山本博樹 亀井隆幸 王 語非	#
PH018	前期高齢者の自己説明が手順説明文の学習に及ぼす 影響 —加齢による体制化方略使用の抑制を自己説明は支 援できるか—	立命館大学大学院 立命館大学 立命館大学 立命館大学大学院	○元木萌水 山本博樹 亀井隆幸 王 語非	#
PH019	読み手の専門性による decorative picture への注意 配分の違い —数学教科書を用いた検討—	広島大学大学院 広島大学大学院 広島大学大学院 広島大学	○陳 放 梁 葉飛 有馬多久充 森田愛子	
PH020	解答を見られた時の児童の反応尺度の作成と信頼性 および妥当性の検討 —回顧法を用いた大学生に対する予備的調査—	奈良教育大学大学院	岡田拓人	
PH021	異なる授業形態での学習者の知識・技術の修得に関 わる自己認知 —対面授業と遠隔授業の比較—	東京電機大学 東京電機大学	○今野紀子 土肥紳一	
PH022	アクティブ・ラーニング型授業におけるグループ活 動の変化の軌跡に関する検討 (1) —潜在クラス成長分析および成長混合モデルによる 潜在クラスの同定—	九州工業大学 関西大学 立正大学	○佐藤友美 杉本英晴 高比良美詠子	
PH023	アクティブ・ラーニング型授業におけるグループ活 動の変化の軌跡に関する検討 (2) —発言活動の潜在クラスが汎用的能力・態度および 学びへの取り組みに及ぼす影響—	関西大学 立正大学 九州工業大学	○杉本英晴 高比良美詠子 佐藤友美	
PH024	アクティブ・ラーニング型授業におけるグループ活 動の変化の軌跡に関する検討 (3) —協同活動の潜在クラスが汎用的能力・態度および 学びへの取り組みに及ぼす影響—	立正大学 九州工業大学 関西大学	○高比良美詠子 佐藤友美 杉本英晴	

社会

PH025	感謝感情と負債感情の経験に関するゆるし傾向性による 調整効果の検討	武蔵野大学	吉野優香	
PH026	日本語非母語話者の発音への適応と異文化受容態度 —日本人大学生の場合—	早稲田大学 早稲田大学	○木下直子 SHEPPARD Chris	#
PH027	消費者がダークパターンとして認識しているデザイン や表記の整理	信州大学 愛知学院大学	○佐藤広英 太幡直也	
PH028	コミュニケーションメディアの違いは友人とのコ ミュニケーションにどのような差異をもたらすのか —自己開示と相手に期待する反応に注目して—	神戸市外国語大学 田岡化学工業株式会社	○田村美恵 山中梨生	#

PH029 いじめ仮想場面における自己中心性バイアス発生の
検証
—攻撃性ならびにいじめ役割経験に着目して—
三郷市立南中学校 〇平賀真樹
鳴門教育大学 内田香奈子

PH030 女子大学生のライフコース選択に影響を及ぼす要因
—過去の家庭や学校における経験・現在の性役割観
に着目して—
お茶の水女子大学大学院 長尾和奏

人格

PH031 日本人成人におけるパーソナリティの変化と安定性
慶應義塾大学 川本哲也

臨床

PH032 セルフ・コンパッションは教職員の努力-報酬不均
衡を抑制するか
同志社大学大学院 〇中島 匠
同志社大学 神原広平 #

特別支援

PH033 多職種が活用できる「巡回相談スキル」抽出のため
の聴き取り調査
星美学園短期大学 〇竹森亜美
神尾陽子クリニック 染谷 怜 #
所沢市子ども支援センター 須田なつ美 #

PH034 就学前障害児幼児への臨床動作法へのかわり
尚綱学院大学 三好敏之

学校心理学

PH035 児童家庭支援センターにおける関係機関連携の実態
—学校との連携に着目して—
白百合女子大学 堀口康太

PH036 幼児対象の社会性と情動の学習 (SEL-8N) プログ
ラムの実践効果の検討
—行動観察による分析—
福岡教育大学 〇山田洋平
福岡教育大学 小泉令三
岡山大学 三島知剛

PH037 新任教師は学級の児童をどのようにとらえていたか
—教師用 RCRT を用いた1年間のふり返り—
びわこ学院大学 南 雅則

PH038 高学年児童における協同的な学びの促進プロセス
東京大学大学院 遠田将大

PH039 学校適応感尺度 ASSESS と教師用 RCRT を活用し
た省察的実践による学級雰囲気の変化
大阪市立加島小学校 〇貴村亮太
兵庫教育大学 秋光恵子

PH040 保護者交流会を媒介とした高等学校における保護者
支援に関する質的研究
金光藤蔭高等学校 〇的場恵美
兵庫教育大学 秋光恵子

PH041 小規模小学校における生徒指導改善のための認知情
動行動リスクのアセスメントと対人環境要因の影響
の検討
岐阜大学大学院 〇七種典威
岐阜大学 吉澤寛之

- | | | |
|--|---|--------------------------------|
| <p>PH042 工業高校の生徒を対象とした認知情動行動リスク要因と対人環境要因による分類
— 自立的改善を目標とした支援方法の基礎データとして—</p> | <p>岐阜県立大垣工業高等学校
岐阜大学</p> | <p>○河本美后子
吉澤寛之</p> |
| <p>PH043 中学校教師を対象としたインタビュー法による外国人生徒の生徒指導上の工夫と課題の解明</p> | <p>埼玉学園大学
埼玉学園大学</p> | <p>○肖 テイ
藤枝静暁</p> |
| <p>PH044 小学生における共同体感覚の構造的視点からの検討</p> | <p>豊橋市立富士見小学校
東京学芸大学
上越教育大学</p> | <p>○水流卓哉
松山康成
赤坂真二</p> |

測定・評価・研究法

- | | | |
|--|-----------------------|-----------------------|
| <p>PH045 国語の記述式問題における評定者間の評価の一致度に関する検討
— 回答欄の字数制限と評価基準が及ぼす影響—</p> | <p>岡山大学
名古屋大学</p> | <p>○安永和央
野口裕之</p> |
|--|-----------------------|-----------------------|

日本教育心理学会第66回総会プログラム

発行日 2024年9月14日

発行者 一般社団法人 日本教育心理学会

日本教育心理学会第66回総会
広告掲載・出展者ご芳名

明石書店	学苑社
風間書房	金子書房
北大路書房	金剛出版
三京房	新曜社
創元社	ちとせプレス
統計質保証推進協会	ナカニシヤ出版
日本文化科学社	ぬくもり工房
博報堂教育財団	ひつじ書房
福村出版	北樹出版
有斐閣	楽天インサイト

(五十音順 敬称略)

本総会を開催するにあたり、上記各社より多大なご支援をいただきました。
心より感謝申し上げます。

2024年9月

一般社団法人 日本教育心理学会

すいすい学べる 認知行動療法

—行動療法の基本と認知療法、マイン
ドフルネス
松野航大・嶋大樹・原真太郎著 2530円

やさしく学ぶ教育心理学

—人と人とのつながりを求めて
栗川直子・浜崎隆司編著
人と人との関係を重視した教科書。理
論編と実践編の二部構成。2530円

グローバル時代の教育相談

—多様性の中で生きる子どもと教師
大家まゆみ・稲垣勉編
多文化共生社会における多様性を尊
重する教育相談とは？ 2530円

アイデアをもたらす思考

—創造的認知を新製品・サービス開
発へ応用する
磯野誠・高橋佳代・島田善道著
効果的にアイデアを創出する方法をイン
タビューや実験から解明。 3300円

やさしく学べる 心理統計法入門

—「再増補版」
—ここからのデータ理解への扉その3
鈴木公啓著
基礎が身につく好評テキスト。2970円

コミュニケーション・ デザインのこころ戦略

—対人コミュニケーションの最適化
大坊郁夫編
相手を知るための心理学。 3520円

ともに学ぶ 薬学の心理学

有田悦子・吉永真理著
患者心理・服薬心理やコミュニケーション
などの基礎知識を学ぼう。 2200円

保育のためのやさしい 教育心理学

—第2版
高村和代・安藤史高・小平英志著
子どもの見方を身につけるために、教
育心理学は役に立つ！ 2090円

発達理論

—発達の多様性の理解と支援に向けて
小山正著
人間発達の多様性に着目。理論を発達支援
の実践につなげることをめざす。2750円

個人と組織のための 男性育休

—働く父母の心理と企業の支援
尾野裕美著
調査から提言を行う。 3300円

恋愛はどこまで 科学でできるのか

—恋の不思議に迫る9つのアプローチ
斉藤慎一著
恋愛に関する重要研究を解説。2420円

コミュニケーション の社会心理学

—伝える・関わる・動かす
岡本真一郎編
最先端の研究を幅広く解説。 3520円

社会性の発達心理学

長谷川真里・佐久間路子・林創編著
重要テーマを第1線の研究者が解説。基本
を学びたい読者にも、深く知りたい読者にも
有用なアドバンステキスト。 2860円

友人グループと 学校適応の心理学

—中学生における「スクールカースト」
という現象に注目して
水野君平著
5500円

異文化間ソーシャル スキル研究の最前線

—国際化時代に求められる対人関係
技能とは 田中共子編
ホストゲストの両面から調査。5940円

地域からみる女性の ライフ・キャリア

—主体的に働き方・生き方を選択でき
る社会の実現のために 小倉祥子著
全国調査から分析する。 3080円

関係の世界へ

—危機に瀕する私たちが生きのびる方法
ケネス・J・ガーゲン著
東村知子・鮫島輝美・久保田賢一訳
一番やさしい社会構成主義入門。2420円

新版暮らしの中の 社会心理学

安藤香織・杉浦淳吉編著
身近なトピックから基礎知識を楽しく
解説する好評テキスト。 2530円

チームダイナミックス の行動科学

—組織の生産性・安全性・創造性を高
める鍵はどこにあるのか
山口裕幸編著
3630円

認知行動療法の ストラテジー

—学校心理学プラクティス②
—行動修正法・行動形成法・認知再構成法
おまじない法 中村恵子著 2640円

精神障がいのある人を 排除する社会でよいのか

—国際比較調査からみる人間の価値
樋口麻里著
国際比較調査から提言。 6600円

金融行動の心理学

—金融心理尺度の開発と応用
佐々木美加著
金融に対する意思決定はどのような心
理プロセスで行われるか。 2200円

司法心理臨床実践

—心の専門家養成講座⑩
河野莊子編
警察、少年鑑別所、家庭裁判所、刑務所な
どでの有効な心理臨床とは。 3520円

完全版インターン シップの教科書

—自分のチカラを見つけたら、試した
い、伸ばしたい、松高政編著
三省合意改正に対応。 2200円

【近刊】新しい言語心理学

茂呂雄二・伊藤崇・新原将義 編 予価 2,600 円 + 税

ことばの実践には、社会や文化を作り出す力がある。実践としてのことばという見方に立ち、言語心理学の新たな方向性を示す。心とことばの関係、社会とことばの関係、ことばの発達プロセス、ことばの障害に関する従来の知識をおさえつつ、この新しい見方をみんなで考えていくための教科書。公認心理師試験「言語心理学」領域にも対応。執筆者：青山征彦、伊藤崇、太田礼穂、城間祥子、新原将義、広瀬拓海、仲嶺真、茂呂雄二

- 1 心とことば
- 2 ことばの仕組み
- 3 ことばと社会
- 4 ことばと認知
- 5 ことばと語り
- 6 ことばの獲得
- 7 ことばのはじまり
- 8 語彙の獲得
- 9 社会的な関わりのなかでのことばの発達
- 10 ことばの障害

【近刊】集団で言葉を学ぶ／集団の言葉を学ぶ

石田喜美 編

何気ない日常に刮目せよ！ 言葉の学びは、集い、読み書く日々の実践の中にこそある！本書では、幼稚園や通信制高校、学校図書館など、様々なフィールドの報告と、社会・文化的アプローチにおける近年の議論から、「個別最適な学び」と「協働的な学び」とを二項対立的に捉える見方に疑問を呈する。言葉やりテラシーの学びについて、対話を始めるための礎がここに！ 執筆者：青山征彦、新居池津子、石田喜美、伊藤崇、岡部大介、高岡佑希、宮澤優弥、吉沢夏音、吉永安里



物語の言語学

語りに潜むことばの不思議

甲田直美 著 定価 2,400 円 + 税

流暢性と非流暢性

定延利之・丸山岳彦・遠藤智子・船橋瑞貴・林良子・モクタリ明子 編 定価 8,800 円 + 税

これからの言語学

ダイナミックな視点から言語の本質に迫る統語論

ジム・ミラー著 岸本秀樹監訳 吉田悦子・久屋孝夫・三浦香織・久屋愛実 訳 定価 3,200 円 + 税

作文教育の日中対照研究

前川孝子 著 定価 7,000 円 + 税

文学教育における

読書行為の研究

丹藤博文 著 定価 7,200 円 + 税

日本における

言語社会化ハンドブック

クック峯岸治子・高田明 編 定価 3,000 円 + 税

やさしい日本語の時代に、 やさしい介護のことばを

遠藤織枝 著 定価 2,600 円 + 税

自閉スペクトラム症と言語

幕内充 編 定価 2,000 円 + 税

パソコンがあればできる！

ことばの実験研究の方法 第2版

容認性調査、読文・産出実験から
コーパスまで

中谷健太郎 編 定価 2,800 円 + 税

音声認識で学べる

英語発音学習帳

中條純子 著 定価 2,000 円 + 税

新刊の詳細ページ



■ひつじ書房の刊行案内や特別セールなどのお知らせは「ひつじメール通信」から配信いたしております。

ご希望の方は toiawase@hituzi.co.jp までメールでご連絡ください。

〒112-0011 東京都文京区千石2-1-2 大和ビル2F TEL 03-5319-4916 FAX 03-5319-4917

toiawase@hituzi.co.jp <https://www.hituzi.co.jp/>

ひつじ書房



統

検

計

定

データから情報をとりだす力

CBT方式

CBT (Computer Based Testing)とは、コンピューターを使用した試験方式のことです。コンピューターのディスプレイに問題が表示され、マウスやキーボードを使って選択肢を選んだり、答えを入力したりして解答します。

全国主要都市
約320か所以上の
試験会場で実施



日本統計学会公式認定

総務省後援・文部科学省後援・経済産業省後援・内閣府後援・厚生労働省後援



ロザリン・バーバー著／大橋靖史 監訳

質的研究のためのフォーカスグループ

SAGE 質的研究キット4

マーケティングにおける手法として紹介されることが多かったフォーカスグループを、質的研究におけるデータ収集方法の柱の一つとして位置づけ、他の質的手法といかに組み合わせるか、フォーカスグループの強みをどう活用するかを理論と実践から解説。

A5判並製256頁／3190円

梶見友輔 著

アンラーニング質的研究

表象の危機と生成変化

質的研究は幅広い分野に拡大し、豊かな実践を生み出している。その一方で、方法は知らず知らずのうちに形骸化し、必要とされる変化を閉ざしてしまつ可能性がある。質的研究を「アンラーニング(学びほく)」し、問いを創出しつづけるための本。

四六判並製312頁／3960円

ダーク・フォン・レーン 著／荒野侑甫ほか 訳

ハロルド・ガーフィンケル

エスノメソドロジの誕生と社会学のあゆみ

いかにしてガーフィンケルはエスノメソドロジを創造したのか。伝統的社会学との差異、周辺の質的研究や理論との関係、近年の応用研究までをクリアにガイド。エスノメソドロジから社会学を、社会学からエスノメソドロジを理解するための超入門。

四六判並製292頁／4290円

樫田美雄・栗田宣義 編著

社会学者のための

論文投稿と査読のアクションリサーチ

(表向きには)フラックボックスとされてきた論文投稿と査読の舞台裏で、実際には何が行われているのだろうか。現場で起きていることに加え、論文投稿と査読の様々な局面に、応用可能な知見を、社会学者たちへ還元する。

A5判並製192頁／2420円

L・ダーリング・ハモンド 著／無藤隆 監訳／松井愛奈・野澤祥子 訳

教師に正しい評価を

有効性と改善のためにほんとうに必要なこと

エビデンスを重視する風潮の中、教師のパフォーマンスを数値化して評価する提案がなされている。しかしそれは有効ではない。調査の証拠と実例に基づいて、末尾一貫した効果的な教師評価のモデルを提示し、そこに含まれるべき要素と基準を具体的に示す。

四六判並製288頁／3520円



株式会社 新曜社 ■〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-9 幸保ビル3階 ■電話03(3264)4973 ■FAX 03(3239)2958
■E-mail info@shin-yo-sha.co.jp ■URL https://www.shin-yo-sha.co.jp/ (表示価格は税込)

中学生の充実感と担任教師による自律支援的指導態度

鹿嶋 真弓 著

八二五〇円

小中学生の英語教育におけるワーキングメモリの基礎研究

佐久間康之 著

六六〇〇円

小学校における学習規律に関する学級経営研究

笹屋 孝允 著

七二五〇円

重度自閉症と共に生きる精神障害者のライフストーリー

井上孝代・永濱檸檬 著

二七五〇円

LGBの精神的健康に関する心理学的研究

佐藤 洋輔 著

四七三〇円

別居・離婚後の子どもの心理的適応に関する研究

直原 康光 著

一一〇〇〇円

負傷競技者のスポーツ傷害受容に関する研究

辰巳 智則 著

七七〇〇円

陸上自衛隊員の心理的レジリエンス

寺田 孝史 著

四九五〇円

授業リフレクション研究による学びの考究

澤本 和子 著

七七〇〇円

「うらみ」の心理学的特徴の検討

鈴木 拓朗 著

六〇五〇円

犯罪からの子どもの安全教育プログラムに関する基礎的研究

清永 奈穂 著

七七〇〇円

文化的・言語的に多様な子ども(CLD児)支援のためのガイドブック

鈴木ゆみ 編著

一八七〇円

子どもの社会的行動のアセスメント

早期発見と支援に生かせる乳幼児健診でのままごと遊び(DVD付) 神尾陽子 監修／別府悦子・宮本正一 編著

二九七〇円

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-34 風間書房 TEL 03-3291-5729 FAX 03-3291-5757 https://www.kazamashobo.co.jp E-mail pub@kazamashobo.co.jp (価格税込)

◆学習や仕事に役立つ動機づけ研究の入門書
動機づけ研究の理論と応用
個を活かしながら社会とつながる

櫻井茂男 著

A5判・216頁 定価 2,750円(税込)

どのような動機から学習や仕事に取り組むと、十分に力を発揮してよい結果が得られるのか。自律的に継続するためのエネルギーとは。



◆人間関係と表現力を育む学びの年間プラン
10時間の授業で学校が変わる!
楽しく学べるグループワーク

正保春彦 著

B5判・200頁 定価 2,860円(税込)

小学校高学年・中学校・高校の年間10回の授業で行う、心を育てるグループワーク。朝の会、帰りの会などモジュール実施も可能です。



◆DCDの困りごとを見逃さない支援のために
不器用・運動が苦手な子の理解と支援のガイドブック
DCD(発達性協調運動症)入門

岩永竜一郎・辻井正次 編著

A5判・160頁 定価 2,200円(税込)

DCDに気がつき、アセスメントし、支援する方法を、わかりやすく解説。子どもにかかわる支援者が知っておきたい知識を網羅。



◆本人・家族・関係者を包括する支援の提示
システムズアプローチで考える「発達障がい」
関係性から丸ごと支援する

吉川 悟・赤津玲子・志田 望 著

A5判・144頁 定価 2,420円(税込)

当事者とその家族への支援に留まらない、本人に関わるすべての社会的接点のある関係者と有効な関わりが生まれる考えと実践を紹介。



◆我々は構成概念を正しく扱えているのか
心理学における構成概念を見つめ直す
歴史・哲学・実践の次元から

キャスリーン・スレイニー 著/仲嶺 真訳

A5判・320頁 定価 4,950円(税込)

心理学にとって重要な、構成概念とその妥当性、妥当性検証を歴史、科学哲学、心理学者の実践の観点から批判的に検討する。



◆見えない「障害」を見立て、支援につなぐ
発達障害のある大学生のアセスメント
理解と支援のための実践ガイド

高橋知音・佐々木銀河・中野泰伺 編著

A5判・212頁 定価 2,750円(税込)

発達障害のある学生への合理的配慮や支援の基盤となるアセスメントについて、ニーズ別の観点や連携方法、支援事例を踏まえた入門書。



〒112-0012 東京都文京区大塚3-3-7

K 金子書房

☎03 (3941) 0111(代) FAX03 (3941) 0163
URL <https://www.kanekoshobo.co.jp>

大学における自殺予防対策

理解と実践的アプローチ

高橋あすみ【著】

●A5判/定価 2970円(税込)

学生の自殺の実態や大学を取り巻く状況を解説しながら、実施されている対策や今後の課題・展望を論じる。大学関係者必携書。

新刊



知的障害のある人への心理支援

思春期・青年期におけるメンタルヘルス

下山 真衣【編著】

●A5判/定価 2420円(税込)

知的障害のある人たちに向けた心理支援に関する知識や考え方をまとめ、具体的なサポート方法を提示する。



発達障がいといじめ

発達の多様性に応える予防と介入

小倉正義【編著】

●A5判/定価 2970円(税込)

いじめへの「認識と実態」「予防」、そして「介入」までを解説し、発達障がいのある子どもたちをいじめから守る方法を探る。

いじめ防止の3R

すべての子どもへのいじめの予防と対処

ロリ・アーンスパーガー【著】

奥田健次【監訳】冬崎友理【訳】

●A5判/定価 3300円(税込)

「認識すること(Recognize)、対応すること(Respond)、報告すること(Report)」という3Rの枠組みを中心に、導入方法を解説する。



通常学級における新たな学校改善術

特別支援教育からのアプローチ

大石幸二【編著】花生典幸【著】

●A5判/定価 1980円(税込)

幼稚園や学校で話せない子どものための場面緘黙支援入門

園山繁樹【著】●四六判/定価 1760円(税込)

「困った場面」の解消方法や、「話せる」に向けた具体的な支援を紹介。



学苑社

〒102-0071 東京都千代田区富士見 2-10-2 飯田橋グラン・ブルーム 5F
<https://www.gakusha.co.jp/>

TEL 03-3263-3817 FAX 03-3263-2410





有斐閣スタジオ シリーズ (各A5判)

y-knot (ワイノット) シリーズ (各四六判)

これからの障害心理学

中島由宇・沖満里子・広津侑実子 編

私の視点、社会の視点から、問い、学べるテキスト。OmS等のツールやWebサポート(一般向け/先生向け)も充実。「公認心理師カリキュラム対応」 定価2200円



Webサポート

これからの教育学

神代健彦・後藤篤・横井夏子 著 定価2090円

教育学がわかる&もつ考えたい！「講義」「問い」の構成で、現代社会が抱える課題を立て、探究を促す、新時代のテキスト。



Webサポート

問いからはじめる発達心理学

生涯にわたる育ちの科学

板上裕子・山口智子・林創・中間玲子 著 [2024年10月刊予定] 累計2万5000部の好評テキストが待望の改訂！近年の研究動向を反映したほか、とくに時代の変化が著しい青年期・高齢期を大幅にアップデート。 予定価2090円

エピソードに学ぶ教育心理学

中谷素之・中山留美子・町岳 著 定価2090円

子どもたちの小さな日常から学びを深める入門書。章末には教師やSCなどがよく使われるEピソード(困難事例/判断に迷う事例)が示され、さらなる学びを促します。



中学・高校教師になるための教育心理学

心理学研究会 編 有斐閣選書 四六判 定価2200円

中学・高校教師の必携書。学習指導要領の改訂を反映した統計や制度の記述を刷新し、現場目線でのコラムを新規追加。



動物心理学入門

日本動物心理学会 監修

小川園子・富原一哉・岡田隆 編

A5判 定価2200円

動物行動研究から探る ヒトのこころの世界

扱ったテーマは現代社会が直面している課題に関するものばかりです。初学者の関心に沿った構成で、心理学入門講義テキストにおすす。



好評の新刊

ようこそ教育心理学の世界へ(第4版)

神藤貴昭・久木山健一 著 2420円

子どもの具体像が見えるよう、事例・具体例や多彩な図版資料をもとに理論およびサポートの様々なあり方を紹介。第4版では「生徒指導提要」の2022年度改訂を踏まえ、昨今の教育現場の変化や問題を概説し、対応も考察。データも更新しさらに学びやすくなった好評のテキスト。



教職ベシック 発達・学習の心理学(新2版)

柏崎 秀子 編著 2200円

発達・学習・障害の側面から教育心理学の理論を概説。各節にまとめ問題を掲載し、映画やネットサイト、小説等、テーマの学びを深めるためのおすす「さらに学びたい人」のために「コラム」も充実。新2版に当たり、現代社会における課題・問題も踏まえ教育現場での対応を解説。



実践につながる教育心理学(改訂版)

櫻井茂男 監修、黒田祐二 編著 2420円

学校での子どもの行動や教師の指導法を心理学的視点で捉える力を養える理論と実践をつなぐ好著。全章最後の節には実践に向かつて付し、実践に役立つ視点から留意点や課題を提示。章末の演習問題で自ら考える力を養うことができる。



教師と学生が知っておくべき教育心理学

武田明典 編著 2530円

コアカリキュラムに沿った使いやすく、ハンデいな入門書。章末にはキーワード解説を付し、QRコードで発達の動画等も視聴できる好著。



「使える」教育心理学(第4版) 服部理監修、安齊順子・荷方邦夫編著

教師と学生が知っておくべき教育方法論・ICT活用 武田明典・村瀬公胤 編著 2420円

「脱・心理学」入門：10代からの文化心理学 新原将義 著 1980円

教育心理学の理論と実践 会沢信彦・桑原千明 編著

パフォーミング教師入門 郡司菜津美 著

デザイン・リアリティ [新版] 有元典文・岡部大介 編著

学会特価 販売サイト



スクールカウンセリングのこれから

石隈利紀・家近早苗 著
定価1,760円(税込)

困難を抱えて学校生活を送っている児童生徒をどのように援助するのか。本書はそのための理論と実践のテキストである。「学校の力」を再発見し、子どもの成長を「チーム学校」で援助するヒントを数多く提供する。



ふたご研究シリーズ

安藤寿康【監修】

- ①認知能力と学習 敷島千鶴・平石界 編
- ②パーソナリティ 山形伸二・高橋雄介 編
- ③家庭環境と行動発達 藤澤啓子・野嵯茉莉 編

双生児研究の全貌を主要テーマごとに紹介する世界にも例のないシリーズ



人間のさまざまな心理や行動への遺伝と環境の影響を解き明かす双生児研究。その全貌を主要なテーマごとに紹介する画期的なシリーズ。第1巻では、双生児研究の基盤となる知見や方法論を解説するとともに、一般知能、ワーキングメモリ、空間能力、実行機能など人間の知的な活動を支える認知能力を取り上げる。

◎各巻 定価3,740円(税込) A5判・並製

対話と協力を生み出す協同学習



佐藤暁 著 定価2,200円(税込)

著者が長年かかわってきた多くの小中学校での実践にもとづき、すべての子どもを「ケア」する(子どもの「弱さ」を肯定も否定もせずに引き受ける)「協同学習」による授業づくり・学校づくりに役立つ考え方や技術を伝える。

〒541-0047 大阪市中央区淡路町 4-3-6
Tel.06-6231-9010

創元社

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-2
田辺ビル Tel.03-6811-0662

<https://www.sogensha.co.jp/>

<https://www.kongoshuppan.co.jp/>

公認心理師必携! 事例で学ぶ教育・特別支援のエビデンスベースト・プラクティス



一般社団法人公認心理師の会 教育・特別支援部会 編
小関俊祐, 大石幸二, 嶋田洋徳, 山本淳一 責任編集

本書では、教育現場で活躍する公認心理師に求められる知識や技能を、豊富な実践事例とともに解説する。

B5判 並製 224頁 定価 3,520円

発達障害支援者のための標準テキスト

幼児期から成人のアセスメントと支援のポイント



辻井正次 監修/高柳伸哉 責任編集

保健・医療・福祉・教育等の全領域に対応! この1冊で発達障害支援の全体像が把握できる支援者向けテキスト。

A5判 並製 324頁 3,850円

子どものためのACT実践ガイド



タマル・ブラック 著/谷 晋二 監訳

体験的エクササイズと創造的セッションに親子で取り組む、はじめての子どものACT(アクセプタンス&コミットメント・セラピー)入門。

A5判 並製 324頁 3,850円

精神療法増刊第11号 児童期・青年期のメンタルヘルスと心理社会的治療・支援

本田秀夫+精神療法編集部 編



本特集は思春期・青年期のメンタルヘルスについて先端的に臨床を実践されている先生方に心理社会的治療と支援についてご執筆いただく。

B5判 並製 272頁 3,300円

Ψ 金剛出版

〒112-0005 東京都文京区水道1-5-16

*価格は税込(10%)表示です。

Tel.03-3815-6661 Fax.03-3818-6848 e-mail address: eigyo@kongoshuppan.co.jp

教育の起源を探る 進化と文化の視点から



安藤寿康 編

四六判並製266頁／定価：2300円

日本の部活 (BUKATSU)

文化と心理・行動を読み解く



尾見康博 著

四六判並製160頁／定価：1700円

こころのやまいのとらえかた



佐々木 淳著

四六判並製264頁／定価：2400円

教育の〈自由と強制〉

矯正教育における
ナラティブ実践の機能
に関する教育学的研究



仲野由佳理 著

A5判上製272頁／定価：4600円

学びを愉しく

〒157-0062

東京都世田谷区南烏山 5 丁目20-9
ハウス・アム・バンホフ 203

株式会社 **ちとせプレス**

Webサイト: <http://chitosepress.com>

E-mail: info@chitosepress.com

Tel: 03-4285-0214 / Fax: 03-4243-3725



えんしゅうめんつむぎ
遠州綿紬
ぬくもり工房



江戸時代より遠州地方につたわる、
「遠州綿紬」の色とりどりな
生地や雑貨を販売しています。



公式ホームページ

ぬくもり工房 本店

〒434-0046

静岡県浜松市浜名区染地台 3-12-25

営業時間 10～18時 水曜定休

TEL : 053-545-6391



日本版

WISC-VTM 知能検査

Wechsler Intelligence Scale for Children - Fifth Edition

子どもの知能を測定するウェクスラー児童用知能検査WISCの最新日本版です。16の下位検査で構成され、特定の認知領域の知的機能を表す5つの主要指標得点(VCI、VSI、FRI、WMI、PSI)、一般的な知能を表す合成得点(FSIQ)、付加的な情報を提供する5つの補助指標得点(QRI、AWMI、NVI、GAI、CPI)を算出します。

コンプリートセット	165,000円 (税込)	原著者	David Wechsler	原版出版社	Pearson
実施・採点マニュアル	16,500円 (税込)	日本版作成	日本版WISC-V刊行委員会 上野 一彦、石隈 利紀、大六一志、松田 修、名越 斉子、中谷 一郎		
理論・解釈マニュアル	13,200円 (税込)	適用範囲	5歳0カ月～16歳11カ月		
記録用紙/ワークブック1(各20名分)	16,500円 (税込)	実施時間	45分～		
ワークブック2(20名分)	5,500円 (税込)				

日本文化科学社



日本版WISC-V知能検査は、NCS Pearson, Inc. との契約に基づいて作成されたものです。

【医科診療報酬点数 280 点】

P-Fスタディ

成人用第Ⅲ版
青年用
児童用第Ⅲ版

2024 年 8 月 発刊

学生用（高校生・大学生）

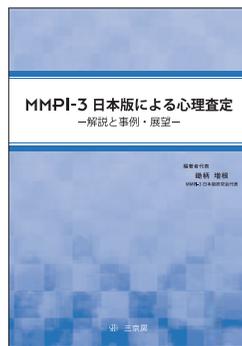
【医科診療報酬点数 280 点】

MMPI 3

Minnesota Multiphasic Personality Inventory-3

日本版

新刊 MMPI-3 日本版による心理査定—解説と事例・展望—



2024 年 6 月 公開

解釈支援システム（解釈レポート自動作成）

SRB 三京房

TEL 075-561-0071 FAX 075-525-1244

問い合わせ・資料請求フォーム：<https://www.sankyobo.co.jp/form3.html>

株式会社三京房は MMPI-3, MMPI の日本公式ライセンスです。

北大路書房

〒603-8303 京都市北区紫野十二坊町12-8

☎ 075-431-0361 FAX 075-431-9393

https://www.kitaohji.com(価格税込)

人はいかに学ぶのか

—授業を変える学習科学の新たな挑戦— 全米科学・工学・医学アカデミー編 秋田喜代美、一柳智紀、坂本篤史監訳 A5・396頁・定価4620円 『How People Learn (邦題：授業を変える)』から20年の間で明らかになった知見に基づき再構成された最新版。脳科学・神経科学、動機づけ研究や文化等多様な切り口から人の「学び」に迫る。

時間概念と空間概念の発達

—古典的ピアジェ課題の新たな展開— 松田文子、岡崎善弘、日下部典子著 A5上製・116頁・定価5940円 時間と空間の概念形成は子どもから大人になる間にどのような発達の道筋を辿るか。ピアジェ課題に端を発する比較判断の課題を用いた実験からその様相を明らかにした、一連の研究の集大成。

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を目指して

奈須正裕、伏木久始編著 A5・352頁・定価2640円 全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実とは。この問いに迫るため、当代きっての著者たちが現状想定される多様な回答を理論と実践の両側面から検討する。「一人一人の子供を主語にする学校教育」の実現に向けていま何ができるのか。その手がかりがここにある。

学習科学ハンドブック 第二版 第1巻

—基礎/方法論— R. K. ソーヤー編 森 敏昭、秋田喜代美、大島 純、白水 始監訳 望月俊男、益川弘如編訳 B5・260頁・定価4070円 メタ認知、足場かけ等の基本的概念を取り上げ、デザイン研究、協調的分析、教育データマイニングといった方法論により主体的・対話的で深い学びの成立条件を明確にする。科学的最新知見を提供する全3巻。

授業を変える

—認知心理学のさらなる挑戦— 米国学術研究推進会議編著 森 敏昭、秋田喜代美監訳 A5・340頁・定価4180円 人はいかに学ぶのだろうか。この疑問にこたえようとする認知心理学の研究成果をもとに、すぐれた授業実践のあり方を問う。研究と実践の橋渡しを見事に成功させた「授業を変える学びの認知心理学」。

ピアジェに学ぶ認知発達の科学

J. ピアジェ著 中垣 啓訳 A5・240頁・定価3080円 数あるピアジェ理論の解説書の中で、ピアジェ自身が自分の理論を解説した唯一の書。全ページに訳者による注釈と詳細な解説を配した、ピアジェ理論を知るために最初に読むべき定番的な教科書であり、研究者にとっても意義深い書である。訳者による小論も掲載。

ニューロマイノリティ

—発達障害の子どもたちを内側から理解する— 横道誠、青山 誠編著 四六・312頁・定価2420円 当事者・支援者・研究者が一体となって「発達障害理解」に革命を起こす！ ニューロマイノリティとして生きている子どもたち、「発達障害児」の体験世界を「内側から理解する」という視点から多様な著者が多角的に描き出す。

主体的・対話的で深い学びに導く 学習科学ガイドブック

大島 純、千代西尾祐司編 A5・240頁・定価2420円 アクティブ・ラーニングの観点から、人の学びのメカニズムについて科学的に考える。各節3～5ページの読み切りで編集し、スキーマ、メタ認知、自己調整学習といった知見を易しく解説した、教養としての学習科学入門。

心理学って面白そう！
どんな仕事で活かされている？

シリーズ **心理学と仕事** (全20巻) **完結!**

シリーズ 監修 太田信夫

●A5判・148～232頁・定価2200～2530円

- | | | | | |
|-------------|------------|------------|-------------|----------------|
| 1 感覚・知覚心理学 | 2 神経・生理心理学 | 3 認知心理学 | 4 学習心理学 | 5 発達心理学 |
| 6 高齢者心理学 | 7 教育・学校心理学 | 8 臨床心理学 | 9 知能・性格心理学 | 10 社会心理学 |
| 11 産業・組織心理学 | 12 健康心理学 | 13 スポーツ心理学 | 14 福祉心理学 | 15 障害者心理学 |
| 16 司法・犯罪心理学 | 17 環境心理学 | 18 交通心理学 | 19 音響・音楽心理学 | 20 ICT・情報行動心理学 |